



MAP96E

IIxil ラフィス 上吊引戸 ライン枠 取付説明書

●取り付けされる方に必ずお渡しください。掲載番号順に施工してください。

■守っていただきたいこと

⚠ 警告 …取付けを誤った場合、使用者などが死亡または重傷を負う危険が想定されます。

⚠ 注意 …取付けを誤った場合、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険または物的損害の発生が想定されます。

⚠ 警告



下記機器をお使いの方は操作をしないでください。
医療機器誤作動のおそれがあります。
(1) 体内埋込型機器
(2) 生命維持用機器
(3) 装着型心電計等

⚠ 注意



●複数人で作業してください。製品の倒れによるケガのおそれがあります。
●製品が脱落しケガをするおそれがありますので、下記事項をお守りください。

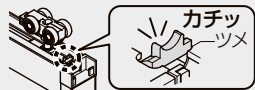
【木質建具】

・吊車をレバーが下がるまで差し込んでください。



【アルミ建具】

・吊車をツメが上がるまで差し込んでください。



保管・施工前のお願い

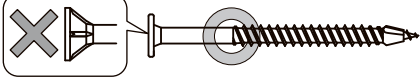
- 取付け後の損傷は免責となるので、開梱時に必ず検品をしてください。
- 製品に不具合があった場合は、取付け前にお買い求め店までご連絡ください。
- 本体は、ソリ・ねじれ防止のため以下の場所には置かないでください。
(直射日光が当たる・昼夜で温度差が激しい・湿気が多い)
- 壁内結露が発生する可能性がある場合は、枠部材に防水処理をしてください。
- 本体部品の損傷、開閉不良防止のため落下させたり衝撃を加えないでください。
- テープを表面シートに貼ると、剥がす際にシートが損傷するので貼らないでください。
- ソリ・ねじれ防止のため、立てかけての長期保管はせず、寝かせた状態にしてください。
- 損傷防止のため、本体は建築工事完了後に吊込むことをおすすめします。
- 採光窓および鏡面色本体の表面にはキズ保護用シートが貼付けてあります。必ず手で剥がしてください。

室内引戸 ライン枠
施工手順動画



6322715357112

※下記内容は重要事項ですので必ず点検してください。

No.	チェック内容	
1	枠施工後に天井ボードを施工しましたか？	☐
2	ソフトモーション受け金具・ブレーキ・補強金具は指定のねじで固定しましたか？ 	☐
3	ライン幅木(樹脂)は、壁紙施工後にビニル共重合系接着剤で張付けしましたか？	☐
4	本体の高さ調整はしましたか？	☐



このマンガはフィクションです。
実在の人物や団体などとは関係ありません。

■部品・部材の明細

※枠はノックダウン、本体は完成品

名称			木質建具									アルミガラス建具						
			ブレーキ仕様		ソフトモーション仕様							ソフトモーション仕様						
		片引戸	引違い戸 2枚建	片引戸	片引戸 2枚建	片引戸 3枚建	引違い戸 2枚建	引違い戸 3枚建	引違い戸 4枚建	引分け戸	片引戸	片引戸 2枚建	片引戸 3枚建	引違い戸 2枚建	引違い戸 3枚建	引違い戸 4枚建	引分け戸	
本体			1	2	1	2	3	2	3	4	2	1	2	3	2	3	4	2
レール セット	1本引レール		1		1						1	1					1	
	2本引レール			1		1		1		1			1		1			
	3本引レール						1		1				1		1			
	すき間埋め部材		1		1	1	1				2	1	1	1				2
縦枠 セット	縦枠		1	2	1	1	1	2	2	2		1	1	1	2	2	2	
	小縦枠		1		1	1	1				2	1	1	1				2
	戸当たり		2	4	2	3	4	4	6	4	2	2	2	2	4	6	4	2
部品 セット	連動ガイドピン												1	2				
	連動ガイドピン取付用 なべ小ねじM4×10												2	4				

クロス下地材



2本入梱包×2/クロス下地材両側仕様用
2本入梱包×1/クロス下地材片側仕様用

埋込敷居

※木質建具の場合のみ

レール
1本引き:1本
2本引き:2本
3本引き:3本



埋込敷居
部品セット

フラット下レール

※木質建具の場合のみ

フラット下レール



部品セット

1 開口部の作り方

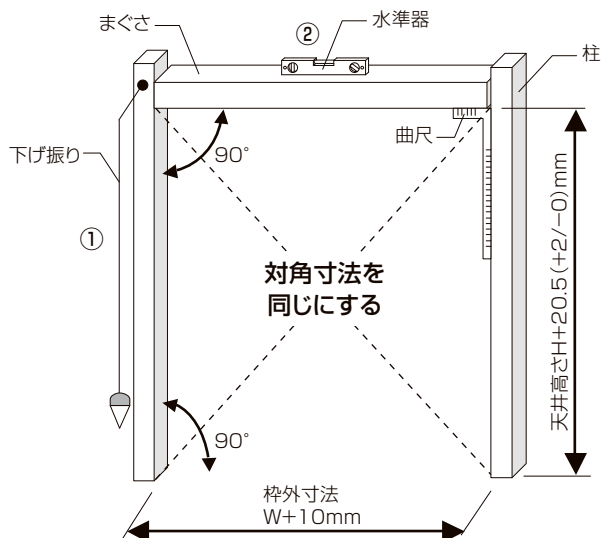
開口施工上のお願い

- 本製品は天井納まりです。天井ボードは、枠を取り付けてから施工してください。
- 製品不具合防止のため、全て含水率20%以下の建築材料を使用してください。
- 躯体は、垂下がり防止のため、本体35kg/枚の強度を確保してください。
- 片引戸の小壁は枠を取り付けてから施工してください。

【軽量鉄骨に施工する場合】

開閉不良防止のため同梱のねじを使用してください。
軽量鉄骨との干渉を避けるため、必ず40mm以上の木枠を入れてください。

- ①開口は、天井高さ $H+20.5(+2/-0)$ mm、幅： $+10$ mmとしてください。
- ②開口は必ず、水平垂直にしてください。



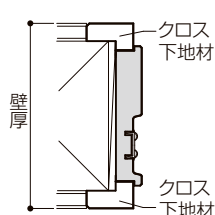
■対応壁厚

クロス下地両側仕様

(単位: mm)

	壁ボード厚 12.5mm	壁ボード厚 9.5mm
対応 壁厚	130・145	124・139
	172・187	166・181

参考納まり(横断面図)

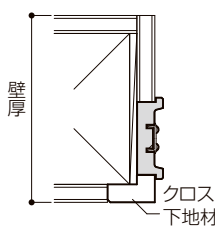


クロス下地片側仕様

(単位: mm)

	壁ボード厚 12.5mm	壁ボード厚 9.5mm
対応 壁厚	130~	124~
	172~	166~
	211~	205~
	172~	166~

参考納まり(横断面図)



2 床の張り方

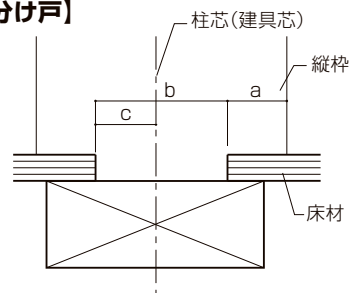
床張り施工上のお願い

- 埋込ガイドピン仕様は開閉不良防止のため、以下の床には取付けしないでください。
(クッションフロア、防音フロア、弾性のある床)

■埋込敷居

- 埋込敷居分のすき間をあけて、床材を張ります。

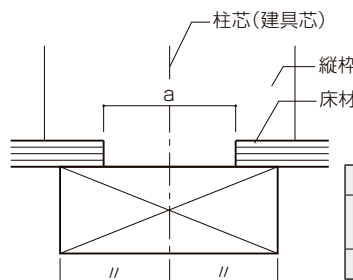
【片引戸・引分け戸】



(単位: mm)

枠機種	a寸法	b寸法	c寸法
片引戸標準	19	30	0
片引戸2枚建	21.5	60	12
片引戸3枚建	19	100	30
引分け戸	19	30	0

【引違い戸2・3・4枚建】

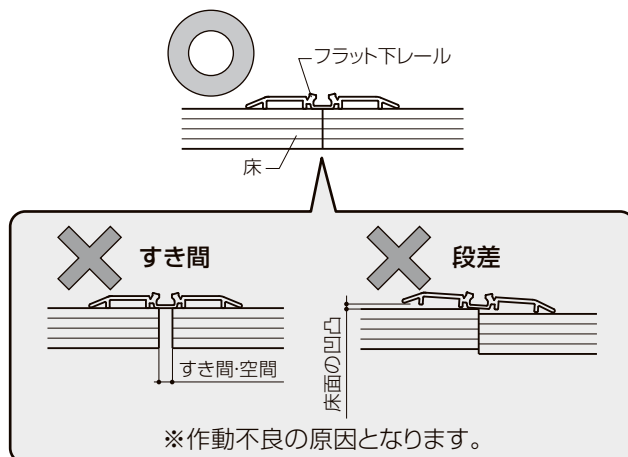


(単位: mm)

枠機種	a寸法
引違い戸 2枚建・4枚建	60
引違い戸3枚建	96

■ガイドピン／フラット下レール／埋込ガイドピン

- 段差やすき間のないように、床材を張ります。



3 枠の取付け

枠取付け上のお願ひ

- 枠の垂下がり・開閉不良防止のため下記事項をお守りください。
- ・ コンクリートやモルタルに直付けする場合は、接地面に防水処理をしてください。
- ・ 同梱のねじを使用してください。
- ・ 枠は水平垂直に取付けてください。
- ・ 枠と躯体の間のかい木は表裏に接着剤（現場手配）を塗布してねじ固定部に入れてください。

① 縦枠の位置出しをします。

平入の場合のみクロス下地材を使用します。

入隅の場合、クロス下地材は使用しません。

② 縦枠と躯体の間にかい木を入れて縦枠を指定のねじで固定します。

③ 一方の縦枠に縦枠上部ピースを仮固定してください。

④ もう一方の(小)縦枠の位置出しを行い、指定のねじで固定します。

■手順3使用部品一覧(枠部品セット内)

名称	木質建具									アルミガラス建具						
	プレーキ仕様		ソフトモーション仕様							ソフトモーション仕様						
	片引戸	引違い戸 2枚建	片引戸	片引戸 2枚建	片引戸 3枚建	引違い戸 2枚建	引違い戸 3枚建	引違い戸 4枚建	引分け戸	片引戸	片引戸 2枚建	片引戸 3枚建	引違い戸 2枚建	引違い戸 3枚建	引違い戸 4枚建	引分け戸
縦枠取付け用DNビス (皿木ねじ)φ3.8×50	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8
縦枠上部ピース取付け用 低頭2条ねじφ4×50	1 (13)	1 (20)	1 (14)	1 (23)	1 (39)	1 (22)	1 (34)	1 (36)	1 (22)	1 (14)	1 (24)	1 (41)	1 (22)	1 (34)	1 (40)	1 (24)
縦枠上部ピース	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1

※()内は部品セット内の総本数

※もう1個の縦枠上部ピースは手順5で使用

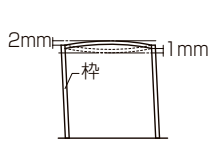
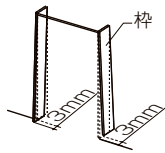
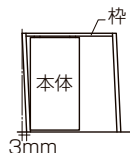
●取付け精度について

下図の範囲内で必ず取付けしてください。

横方向の倒れ

奥行き方向のねじれ

レールの
タイコ・ツツミ

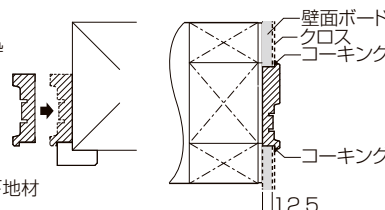
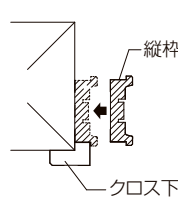


※範囲を超えると作動不良となります。

① 枠の位置出し(見込み方向)

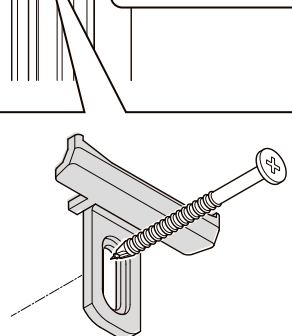
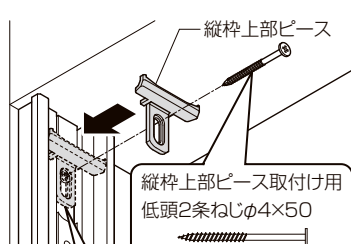
●平入の場合

●入隅の場合

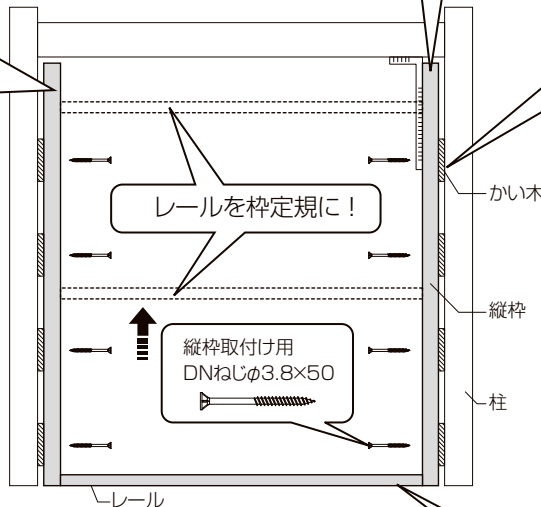


※図は片引戸L勝手

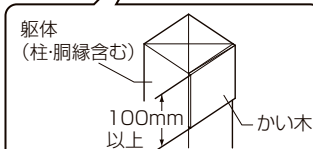
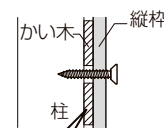
③ 縦枠上部ピースの取付



ピースが上下に動く程度に仮固定！

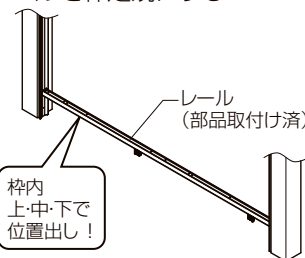


② かい木について



④ (小) 縦枠の位置出し

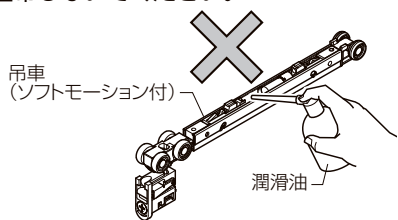
レールを枠定規にする



4 レール取付け前の準備

レール取付け準備上のお願い

※作動不良防止のため、吊車(ソフトモーション付)に潤滑油などを塗布しないでください。



- ①レールに吊車を指定の向きに挿入します。
- ②両端にレール端部キャップを取り付けてください。

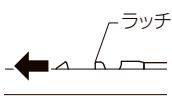
■手順4使用部品一覧(枠部品セット内)

名称		木質建具									アルミガラス建具						
		ブレーキ仕様		ソフトモーション仕様							ソフトモーション仕様						
		片引戸	引違い戸 2枚建	片引戸	片引戸 2枚建	片引戸 3枚建	引違い戸 2枚建	引違い戸 3枚建	引違い戸 4枚建	引分け戸	片引戸	片引戸 2枚建	片引戸 3枚建	引違い戸 2枚建	引違い戸 3枚建	引違い戸 4枚建	引分け戸
吊車		2	4	1	2	3	2	3	4	2	1	2	3	2	3	4	2
吊車 (ソフトモーション付)				1	2	3	2	3	4	2	1	2	3	2	3	4	2
レール端部キャップ		2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2

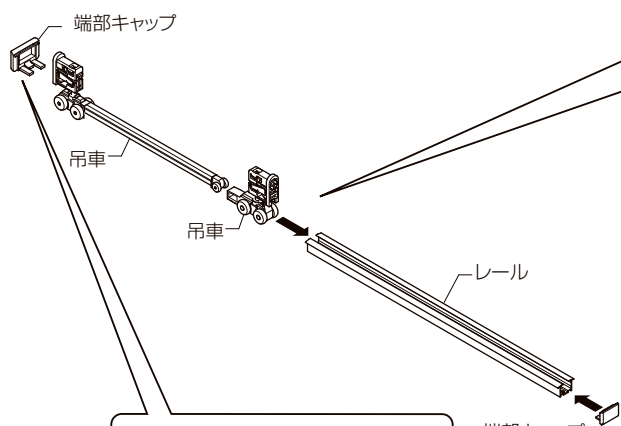
●吊車の挿入前確認(ソフトモーション付)



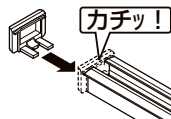
ラッチが出っ張る ラッチが出っ張らない



※※の場合
ラッチを引っ張り正常位置へ戻す。
※(破線の□)は本図と対称



②端部キャップの取付け
たたき込まない!

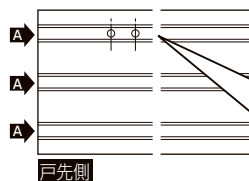


①吊車挿入向き

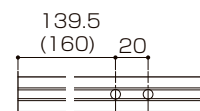
■ソフトモーション仕様

片引戸、片引戸2枚、3枚建

※図は片引戸3枚建てを示す。



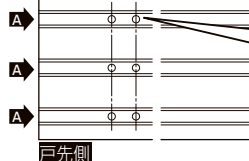
●戸先側 受け金具位置



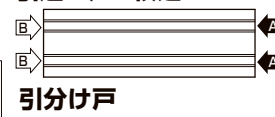
※()内寸法は
アルミガラス建具
の場合

引違い戸2枚、3枚建

※図は引違い戸3枚建てを示す。



引違い戸4枚建



引分け戸

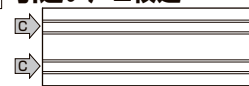


■ブレーキ仕様(木質建具のみ)

片引戸



引違い戸2枚建



5 レールの仮設置

レール仮設置時のお願い

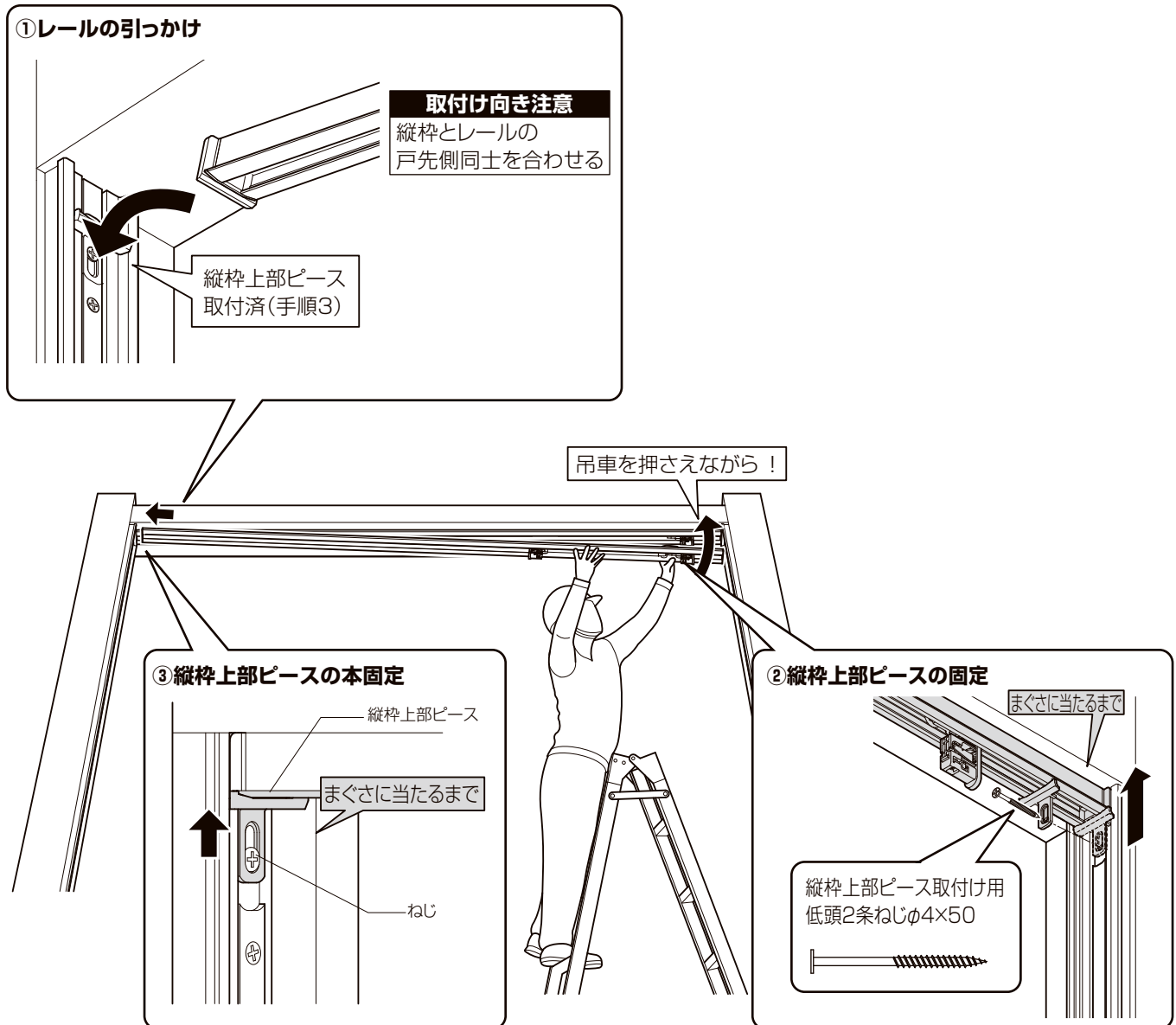
- 吊車のはずれ防止のため、吊車はレールを持ち上げる側に寄せてください。

- ①縦枠上部ピース取付け済みの縦枠にレールの片側を引っかけます。
- ②反対側のレールをまぐさに当たるまで持ち上げて、縦枠上枠ピースを固定します。
- ③①の縦枠上部ピースのねじをゆるめ、レールがまぐさに当たるまで持ち上げて本固定します。

■手順5使用部品一覧(枠部品セット内)

名称		木質建具										アルミガラス建具						
		プレーキ仕様		ソフトモーション仕様								ソフトモーション仕様						
		片引戸	引違い戸 2枚建	片引戸	片引戸 2枚建	片引戸 3枚建	引違い戸 2枚建	引違い戸 3枚建	引違い戸 4枚建	引分け戸		片引戸	片引戸 2枚建	片引戸 3枚建	引違い戸 2枚建	引違い戸 3枚建	引違い戸 4枚建	引分け戸
縦枠上部ピース取付け用 低頭2条ねじφ4×50		1 (13)	1 (20)	1 (14)	1 (23)	1 (39)	1 (22)	1 (34)	1 (36)	1 (22)		1 (14)	1 (24)	1 (41)	1 (22)	1 (34)	1 (40)	1 (24)
縦枠上部ピース		1	1	1	1	1	1	1	1	1		1	1	1	1	1	1	1

※()内は部品セット内の総本数



6 レールの取付け(本固定)

レール取付け時のお願い

- 枠の垂下がり・開閉不良防止のため下記事項をお守りください。
- ・ 固定ねじは締めすぎないでください。
- ・ レール固定時、吊車(ソフトモーション付)は受け金具と受け金具の間に配置してください。
- ・ ソフトモーション作動不良防止のため、受け金具は浮き、ガタツキ、締めつけすぎなくレールに固定してください。

- ①レールを同梱のねじで固定します。
- ②部品取付け治具を用いて同梱のねじで固定します。
ソフトモーション仕様：受け金具、ストッパー
ブレーキ仕様：ブレーキ部品、補強部品

■使用部品一覧(枠部品セット内)

名称		木質建具								アルミガラス建具							
		ブレーキ仕様		ソフトモーション仕様								ソフトモーション仕様					
		片引戸	引違い戸 2枚建	片引戸	片引戸 2枚建	片引戸 3枚建	引違い戸 2枚建	引違い戸 3枚建	引違い戸 4枚建	引分け戸	片引戸	片引戸 2枚建	片引戸 3枚建	引違い戸 2枚建	引違い戸 3枚建	引違い戸 4枚建	引分け戸
レール/受け金具/ ブレーキ/補強金具取付け用 低頭2条ねじφ4×50		13	20	14	23	39	22	34	36	22	14	24	41	22	34	40	24
ブレーキ		1	2														
補強金具		1	2														
ソフトモーション受け金具				2	4	6	4	6	8	4	2	4	6	4	6	8	4
ソフトモーションストッパー					1	2			2	1		2	4			4	2
部品取付け用治具		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1

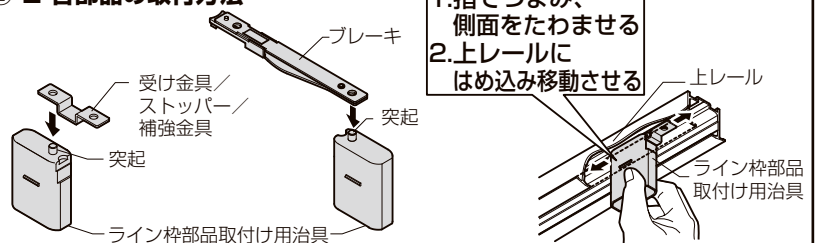
②-1 部品取付け時の吊車位置

吊車(ソフトモーション付)は受け金具と受け金具の間に配置してください。

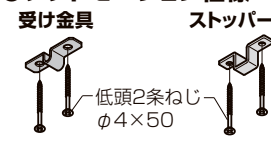


最後に固定

②-2 各部品の取付け方法



●ソフトモーション仕様



●ブレーキ仕様



②-3 各部品の取付け位置

※取付箇所にシールが貼ってあります。

●ソフトモーション仕様



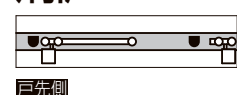
●ブレーキ仕様



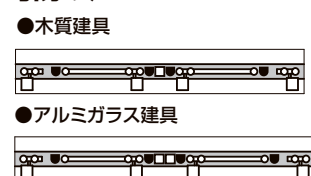
●ソフトモーション仕様



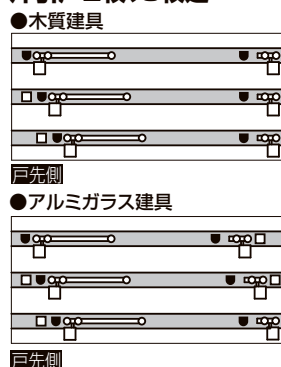
片引戸



引分け戸



片引戸2枚、3枚建



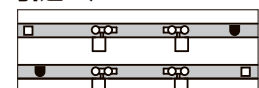
引違い戸4枚建



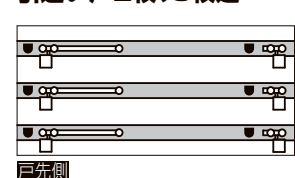
片引戸



引違い戸



引違い戸2枚、3枚建

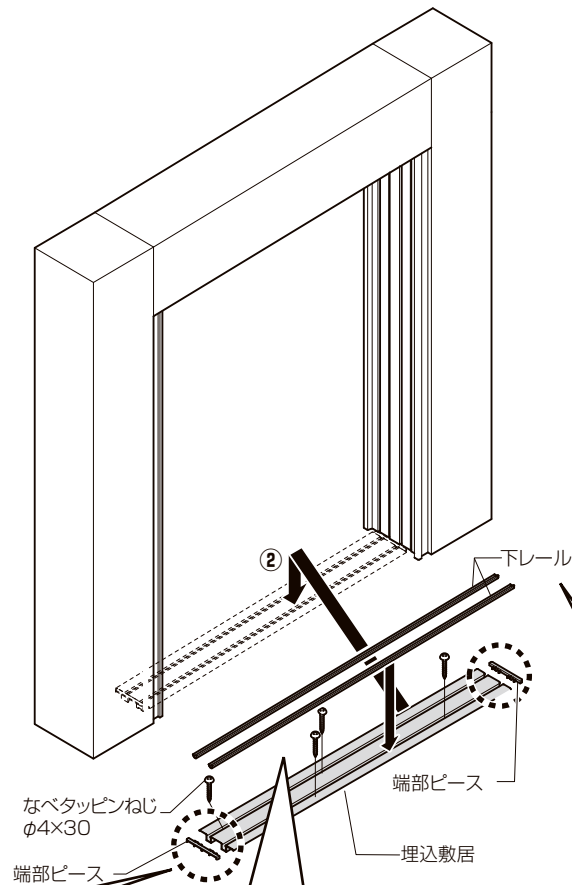


7-1 床部の施工(埋込敷居)※木質建具の場合のみ

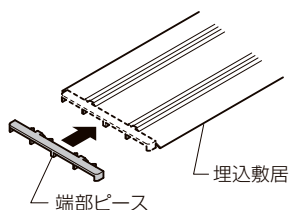
- ①埋込敷居に端部ピースを差込みます。
- ②戸じゃくりに端部ピースを合わせて、敷居を配置し、固定します。
- ③レールに当て木をしてプラスチックハンマーなどでたたき込みます。
- ④片引戸2・3枚建の場合
戸じゃくり部以外のレール端部にVレールスペーサーを取り付けます。

■埋込敷居用部品セット

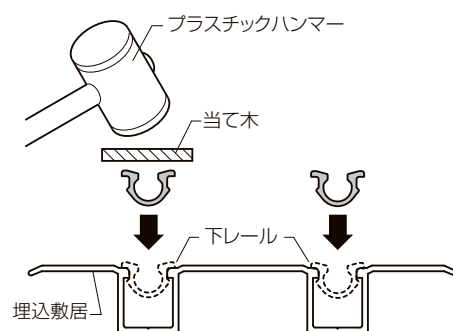
名称		片引戸	片引戸 2枚建	片引戸 3枚建	引違い戸 2枚建	引違い戸 3枚建	引違い戸 4枚建	引分け戸
戸じゃくり1本用端部ピース		2	1	1	—	—	—	2
戸じゃくり2本用端部ピース		—	1	—	2	—	2	—
戸じゃくり3本用端部ピース		—	—	1	—	2	—	—
敷居取付け用なべタッピンねじφ4×30		5	7	9	5	7	9	9
Vレールスペーサー		—	1	2	—	—	—	—
中縦枠下部スペーサー		本製品では使用しません						



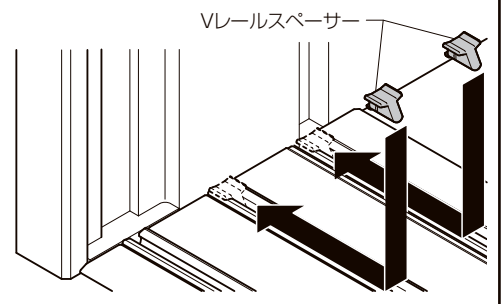
①端部ピースの取付け



③下レールの取付け



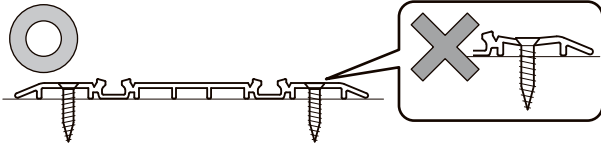
④Vレールスペーサーの取付け (片引戸2・3枚建のみ)



7-2 床部の施工(フラット下レール)※木質建具の場合のみ

フラット下レール施工上のお願い

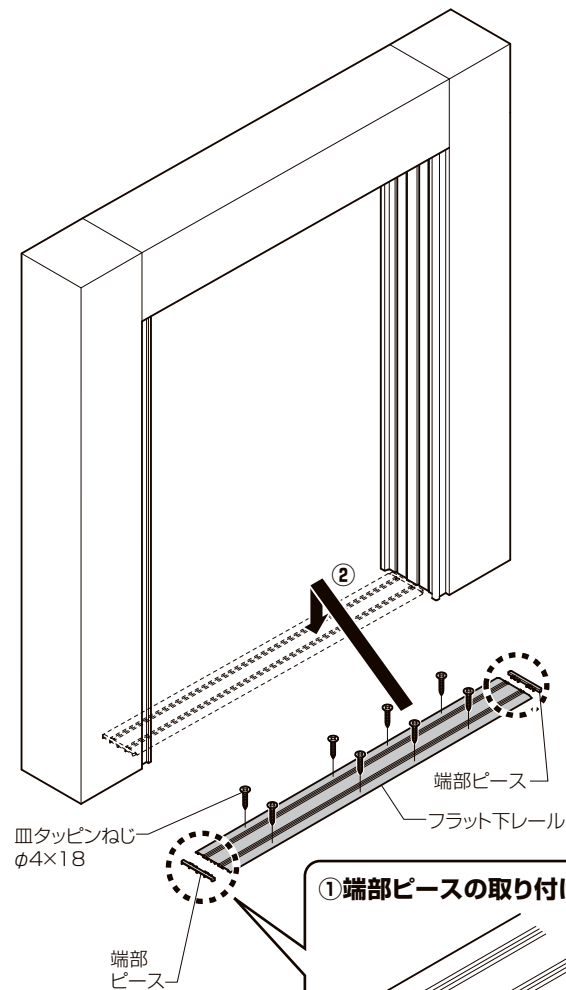
- 開閉不良防止のため、固定ねじを締めすぎないでください。



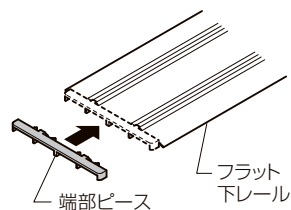
- ①端部ピースをフラット下レールの端部に差込んでください。
- ②戸じゃくりに端部ピースを合わせて、レールを固定してください。

■フラット下レール用部品セット

名称		片引戸	片引戸 2枚建	片引戸 3枚建	引違い戸 2枚建	引違い戸 3枚建	引違い戸 4枚建	引分け戸
フラット下レール取付け用頭塗装 皿タッピンねじφ4×18		14	22	28	14	22	28	28
フラット下レール1本引き用端部ピース		2	1	1	—	—	—	2
フラット下レール2本引き用端部ピース		—	1	—	2	—	2	—
フラット下レール3本引き用端部ピース		—	—	1	—	2	—	—



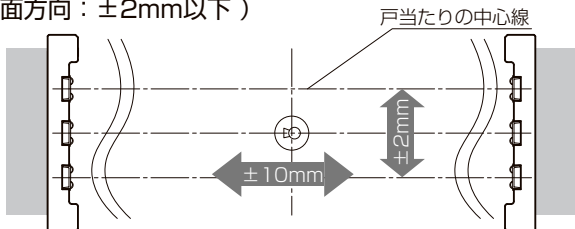
①端部ピースの取り付け



7-3 床部の施工(埋込ガイドピン)

埋込ガイドピン施工上のお願い

- 開閉不良防止のため、以下の床には取付けしないでください。(クッションフロア、防音フロア、弾性のある床)
- 開閉時に本体がガイドピンから外れるので、()内の施工精度を守ってください。(開閉方向：±10mm以下、面方向：±2mm以下)



- 開閉不良防止のため、ガイドピン用の加工穴は垂直にして、バリ、切粉を取り除いてください。
- ガイドピンベースの取付けは、破損するので直接たたかず、必ずあて木をしてください。

- ①床に穴あけの位置出しをします。
- ②位置出し部にφ22mm×深さ12mmの穴をあけます。
- ③埋込ガイドピンベースの溝を開閉方向に合わせ、加工穴にはめ込みます。
- ④埋込ガイドピン本体をカチッと音がするまで入れてください。
※本体の吊込み後に位置調整を行います。

埋込ガイドピンセット明細

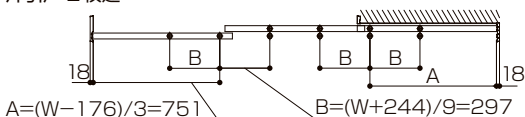
埋込ガイドピンセット		
埋込ガイドピン本体		埋込ガイドピンベース
※アルミガラス建具は引違い3枚建の場合のみ		

部品名称	片引戸 2枚建	片引戸 3枚建	引違い戸 3枚建
10個入セット	1	—	—
18個入セット	—	1	1

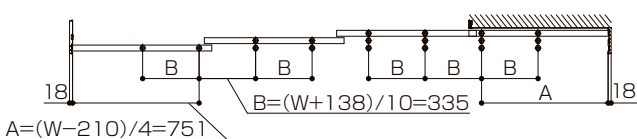
①埋込ガイドピン下穴位置

	名称	A	B	W
木質建具	片引戸2枚建	751	(W-176)/3	2429
	片引戸3枚建	751	(W-210)/4	3214
	引違い戸3枚建	751	(W-176)/3	2429
アルミ ガラス建具	引違い戸3枚建	722	(W-279)/3	2445

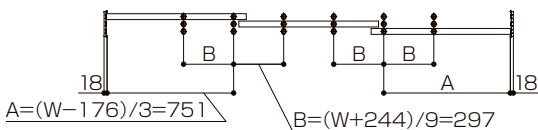
【木質建具】 片引戸 2枚建



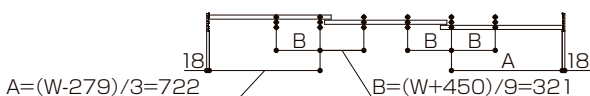
片引戸 3枚建



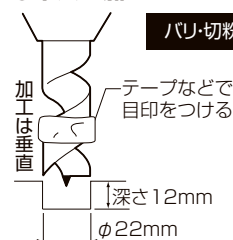
引違い戸 3枚建



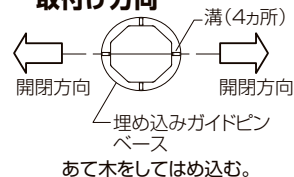
【アルミ建具】 引違い戸 3枚建



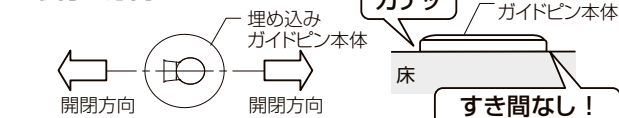
②下穴の加工



③埋め込みガイドピンベース 取付け方向



④埋め込みガイドピン本体 取付け方向

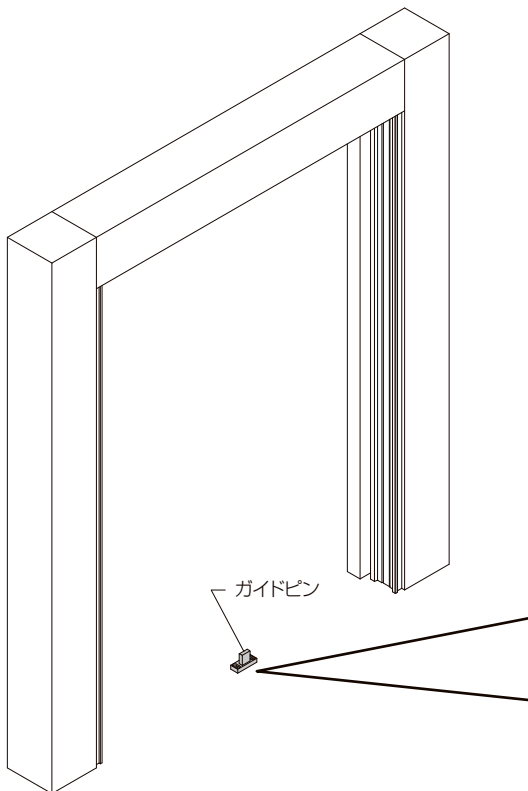


7-4 床部の施工(ガイドピン)

●ガイドピンを床の指定の位置に固定します。

■使用部品一覧(枠部品セット内)

名称		木質建具									アルミガラス建具						
		プレーキ仕様		ソフトモーション仕様							ソフトモーション仕様						
		片引戸	引違い戸 2枚建	片引戸	片引戸 2枚建	片引戸 3枚建	引違い戸 2枚建	引違い戸 3枚建	引違い戸 4枚建	引分け戸	片引戸	片引戸 2枚建	片引戸 3枚建	引違い戸 2枚建	引違い戸 3枚建	引違い戸 4枚建	引分け戸
ガイドピンセット		1	2	1			2		4	2	1	1	1	2		4	2

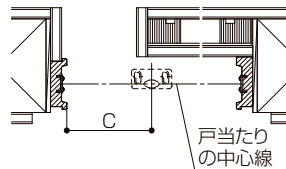


●ガイドピン固定位置

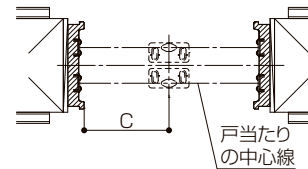
名称	C寸法	
	木質建具	アルミ建具
片引戸	(W-36)/2	
片引戸2枚建	—	(2W-16)/3
片引戸3枚建	—	(3W-9)/4
引違い2枚建	(W-36)/2	
引違い4枚建	(W-53)/4	(W-47)/4
引分け戸	(W-53)/4	(W-47)/4

【木質建具】

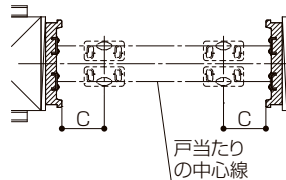
片引戸



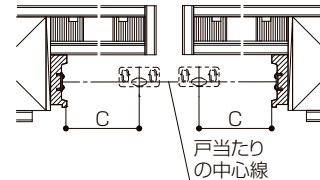
引違い戸2枚建



引違い戸4枚建

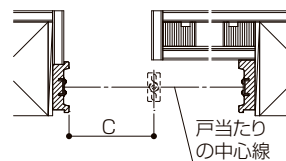


引分け戸

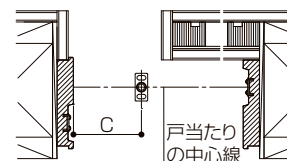


【アルミ建具】

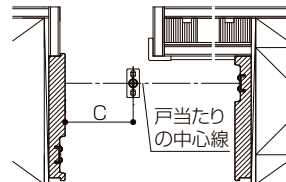
片引戸



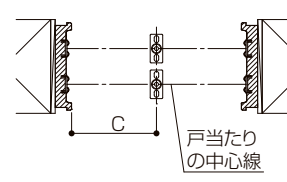
片引戸2枚建



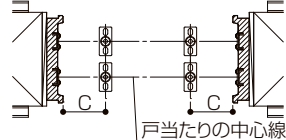
片引戸3枚建



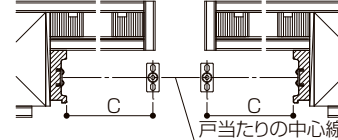
引違い戸2枚建



引違い戸4枚建



引分け戸

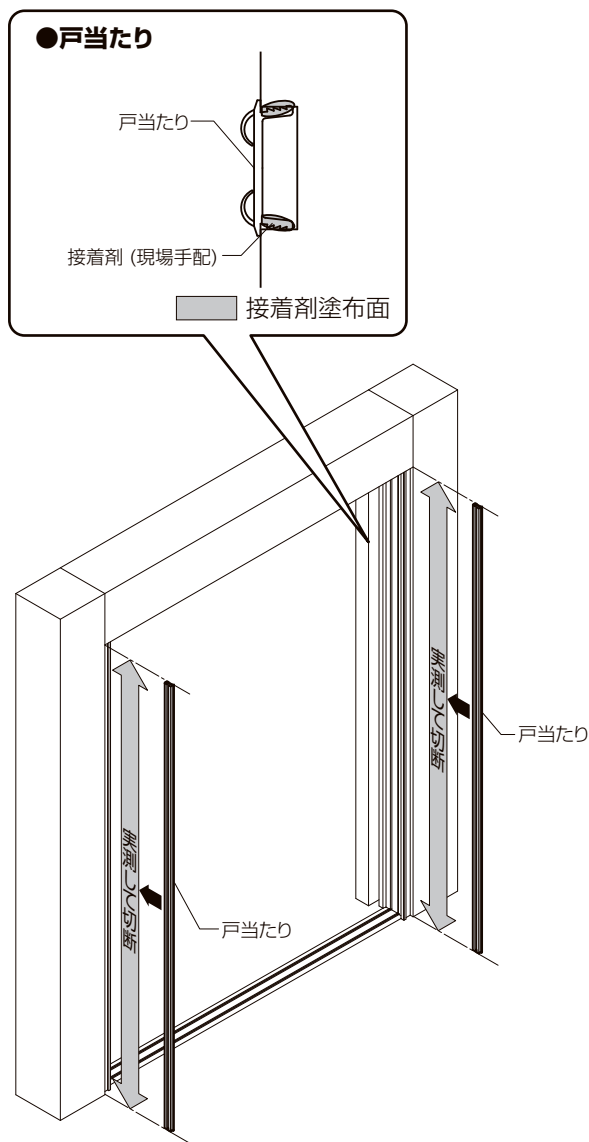


8 戸当たりの取付け

戸当たり取付け上のお願ひ

- 戸当たりが破損するので、必ず当て木をして取付けてください。

- ①戸当たりを実測寸法で切断します。
- ②戸当たり取付け部リップ全面に木工用接着剤(現場手配)を塗布して取付けます。(はみ出た接着剤は必ず拭き取ってください。)



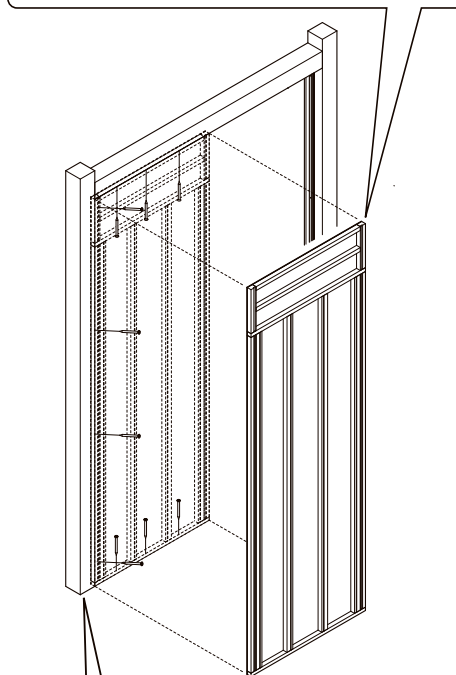
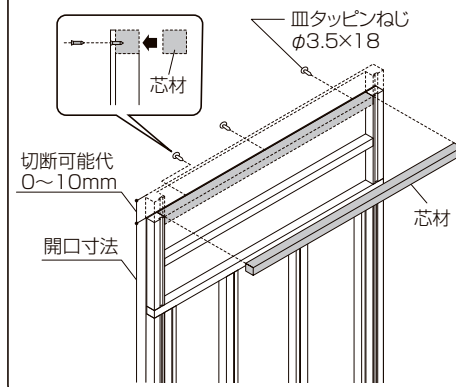
9 小壁ユニットの取付け(別売品)※片引戸・引分け戸のみ

※小壁ユニットを使用しない場合は現場で小壁を仕上げてください。

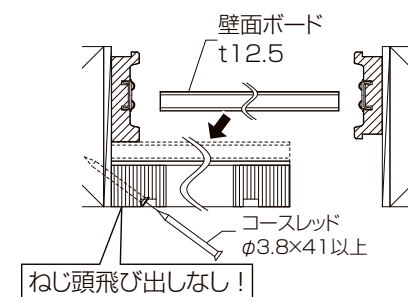
※FIXガラスパネルの場合はFIXガラスパネル製品に同梱の取付け説明書を参照してください。

- ①必要に応じて、開口部の高さに合わせて小壁ユニットの上部を切断します。
- ②同梱の芯材を上端に指定のねじで固定します。
- ③小壁ユニットを開口内に設置し、下穴を空けてコースレッドφ3.8×41以上(現場手配)で固定します。
- ④小縦枠と小壁ユニットの間に壁面ボードを取り付けます。

①②小壁ユニットの切断・芯材の固定



③④小壁ユニット・壁面ボードの固定

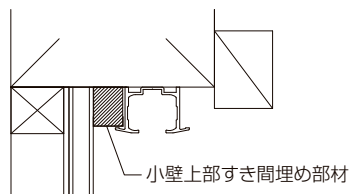


Ⅲ 小壁上部すき間埋め部材の取付け※片引戸・引分け戸のみ

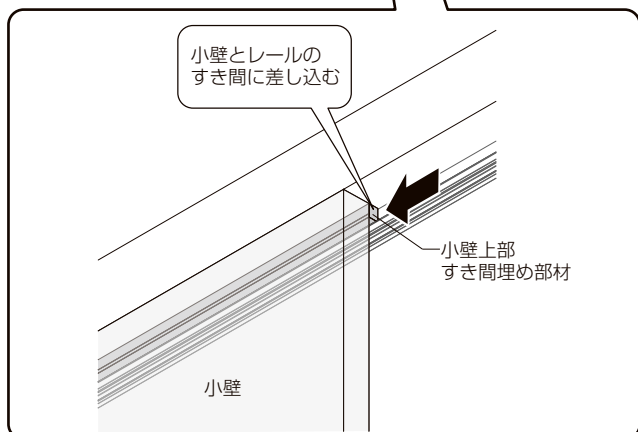
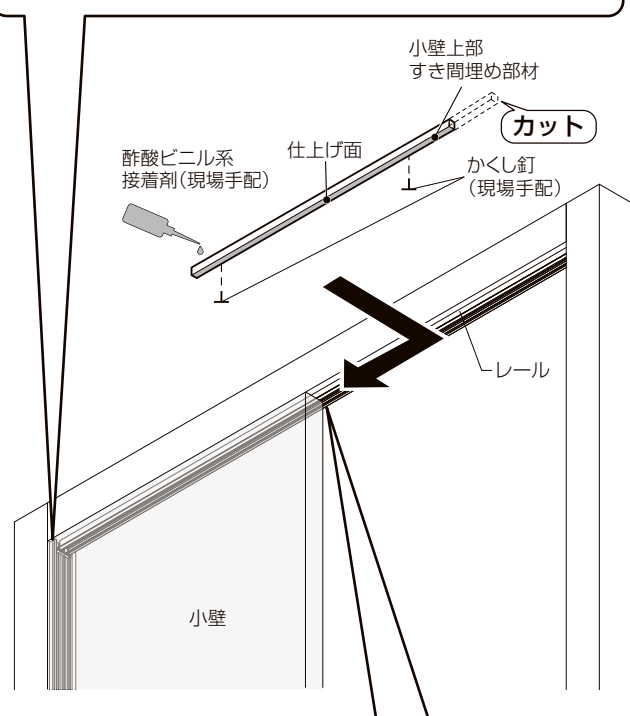
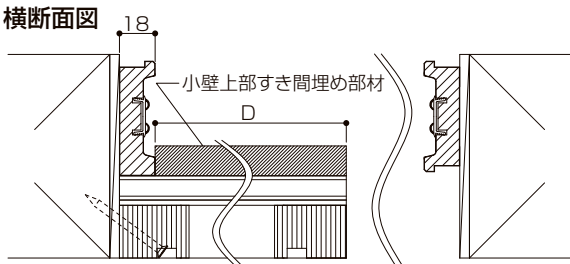
- ①小壁上部すき間埋め部材をD寸法に切断します。
- ②小壁とレール用溝の間に接着剤(※)とかくし釘(※)で固定してください。

※：現場手配

●納まり図 縦断面図



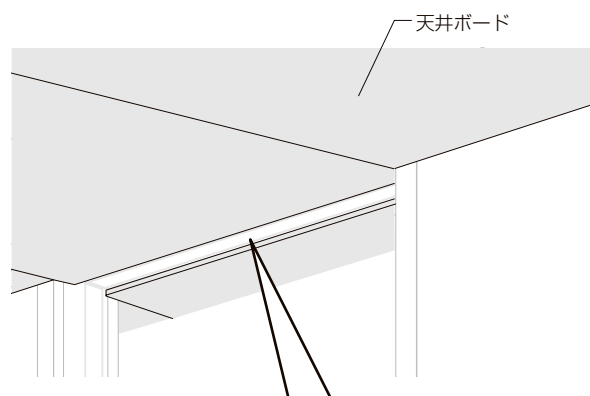
横断面図



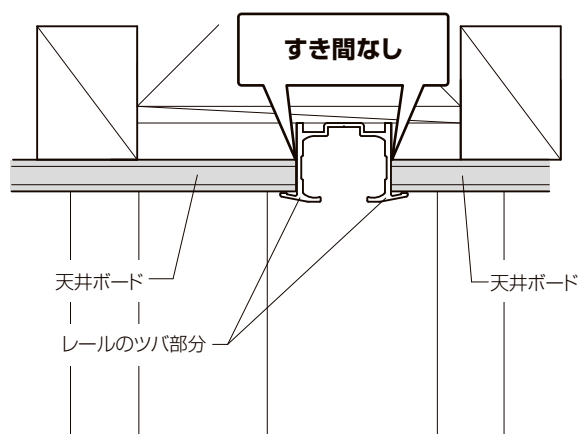
Ⅳ【建築工事】天井ボードの施工

【建築工事】天井ボード施工上のお願い

- レール側面に突き付けて、すき間なく施工してください。
- 開閉不良防止のため、レールに強く突き当てないでください。
- 天井ボード(現場手配)をレールのつば部分に差し込んでください。



●天井ボードの差込み

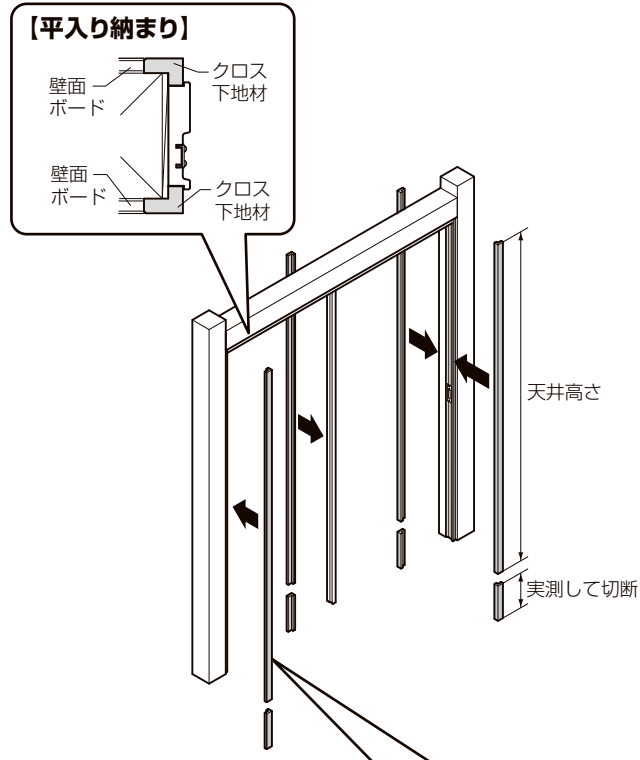


㊦クロス下地材と化粧縁の取付け(平入納まりのみ)

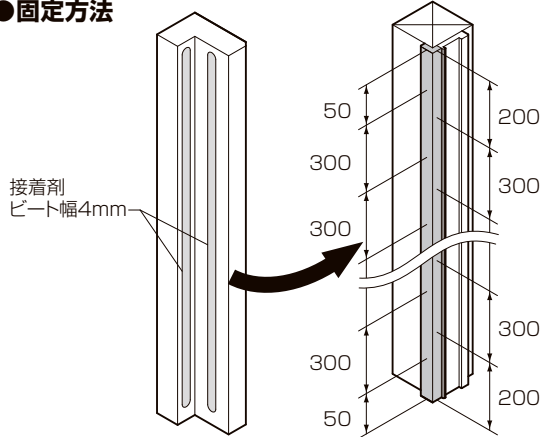
■クロス下地材

- ①クロス下地材を天井高に合わせて切断します。
- ②クロス下地材裏面に接着剤(※)を塗布して指定のピッチで隠し釘(※)で固定してください。

※：現場手配



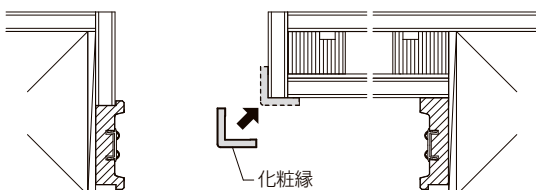
●固定方法



■化粧縁

小壁の内角部に施工してください。

- ①化粧縁を天井高に合わせて切断します。
- ②化粧縁の裏面に接着剤(※)を塗布します。
- ③かくし釘(200～300mmピッチ)で固定してください。



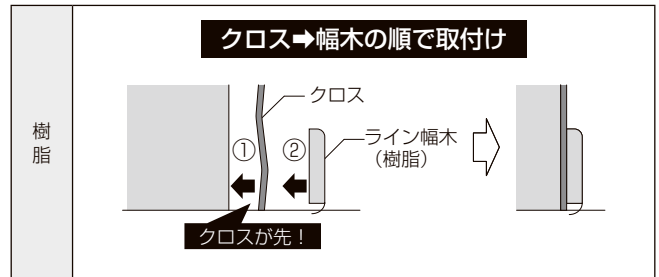
㊦壁面ボードとライン幅木の施工

ライン幅木施工上のお願い

- ライン幅木(樹脂)がはがれるので、必ず壁紙の上からソフト幅木用接着剤(※)で張付けてください。
- ※ビニル共重合系溶剤形、アクリル樹脂系エマルジョン形または合成ゴム系溶剤形接着剤(JIS A 5536 認定品)

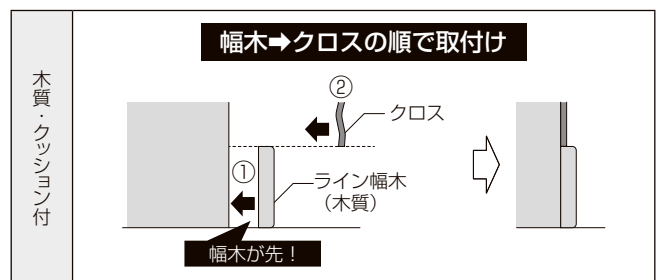
■ライン幅木(樹脂)

- ①壁面ボードに壁紙を施工します。
- ②壁紙の上から専用接着剤でライン幅木を張付けしてください。



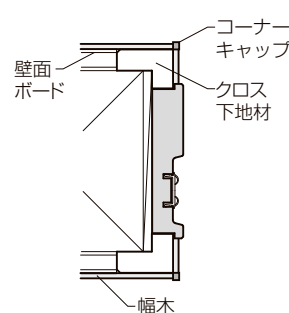
■ライン幅木(木質)/ライン幅木(クッション付)

- ①壁面ボードを施工します。
- ②ライン幅木の裏面全体に接着剤(現場手配)を塗布して張付けてください。
- ③かくし釘(200～300mmピッチ)で固定します。

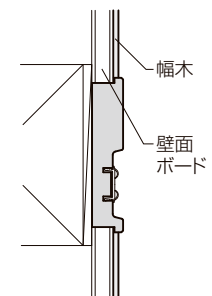


■ライン幅木の納まり

【平入り納まり】



【両入隅納まり】



ラフィス
ライン幅木
施工手順動画



5217969977001

Ⅳ 本体吊込み前の準備(フラット下レール・埋込敷居・連動ガイドピン)

▲ 注 意



●複数人で作業してください。製品の倒れによるケガのおそれがあります。

本体の吊込み準備上のお願い

●開閉不良防止のためレールの汚れ、ゴミを取り除いてください。



下レール



フラット下レール

本体下部の仕様	本体仕様	
	木質	アルミ
ガイドピン・床見切り仕様	○	○
フラット下レール、埋込敷居仕様	○	—
連動ガイドピン仕様	—	○
埋込ガイドピン仕様	○	○

【フラット下レール・埋込敷居仕様共通】

●レールの汚れ、ゴミを取り除きます。

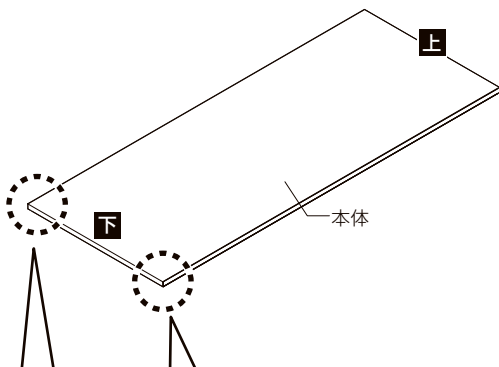
【埋込敷居仕様】

●本体のガイドスライダーを取り外し、スペーサーを間にはさみ、再度取り付けます。

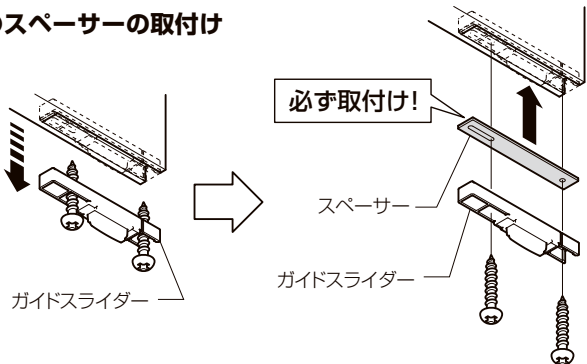
【連動ガイドピン仕様】

●戸尻、中間本体に連動ガイドピンを取り付けます。

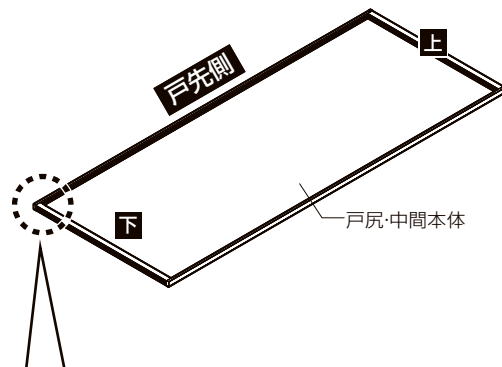
■埋込敷居仕様



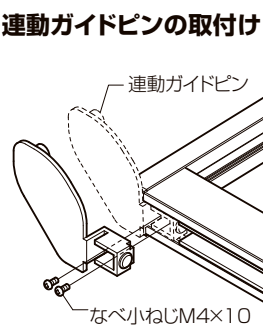
●スペーサーの取付け



■連動ガイドピン仕様



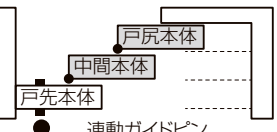
●連動ガイドピンの取付け



<片引戸2枚建>



<片引戸3枚建>



● 連動ガイドピン
■ 連動ガイドピン取付け本体

■ 本体の吊込み

▲ 注 意



- 複数人で作業してください。製品の倒れによるケガのおそれがあります。
- 製品が脱落しケガをするおそれがありますので、下記事項をお守りください。

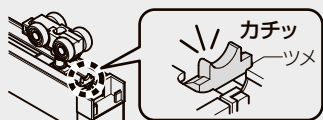
【木質建具】

- ・ 吊車をレバーが下がるまで差し込んでください。



【アルミ建具】

- ・ 吊車をツメが上がるまで差し込んでください。

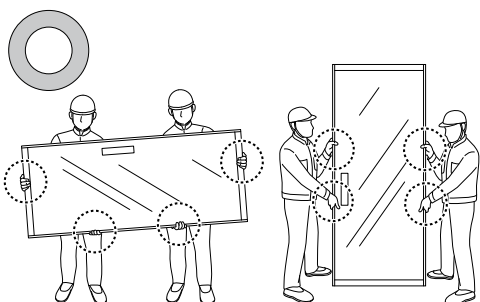
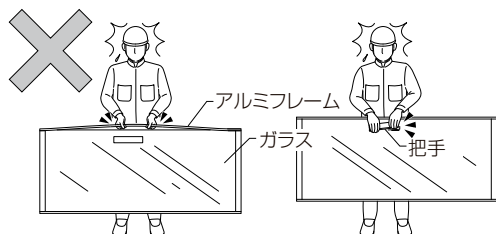


■ 本体の吊込み上のお願ひ

- 本体Hが大きいのので、搬入・吊り込み時、天井や壁にぶつけないようにしてください。

【アルミガラス本体】

- アルミフレーム・把手を持つとガラスから外れます。一度外れると元には戻りません。ガラスを下から支えるように持ってください。



【連動ガイドピン仕様】

- 部品の変形による作動不良防止のため、部品下にスペーサー（現場手配）を入れて作業してください。

本体下部の仕様	本体仕様	
	木質	アルミ
ガイドピン・床見切り仕様	○	○
フラット下レール・埋込敷居仕様	○	—
連動ガイドピン仕様	—	○
埋込ガイドピン仕様	○	○

【ガイドピン・床見切り仕様】

【フラット下レール・埋込敷居仕様】

- 本体をガイドピンまたはレールにはめ、持ち上げて吊車を取り付けます。

【連動ガイドピン仕様】

- ① 戸尻本体をガイドピンにはめて、吊車を取り付けます。
- ② 中間本体を連動ガイドピンにはめて、吊車を取り付けます。（片引戸3枚建のみ）
- ③ 戸先本体を連動ガイドピンにはめて、吊車を取り付けます。

【埋込ガイドピン仕様】

- ① 吊車を取り付けます。
- ② 埋込ガイドピンが本体中心から±2mm以内になるように調整してください。

【共通】吊車の取付方法

■ アルミガラス本体

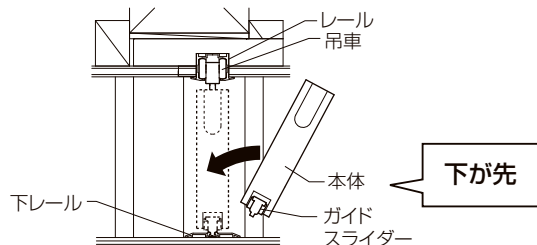
- ① 本体上部ピースをマイナスドライバーなどで取外します。
- ② 吊車をカチッと音がするまで入れます。
- ③ 本体上部ピースを戻します。

■ 木質本体

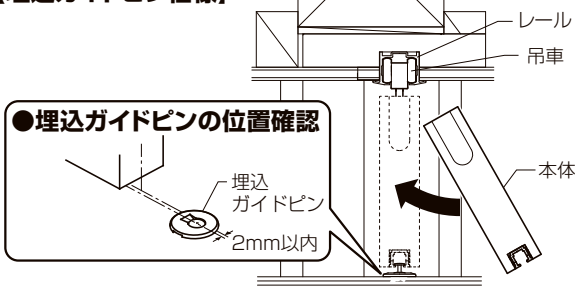
- 本体を持ち上げて、レバーが下がるまで吊車を本体に差し込んでください。

【ガイドピン・床見切り仕様】

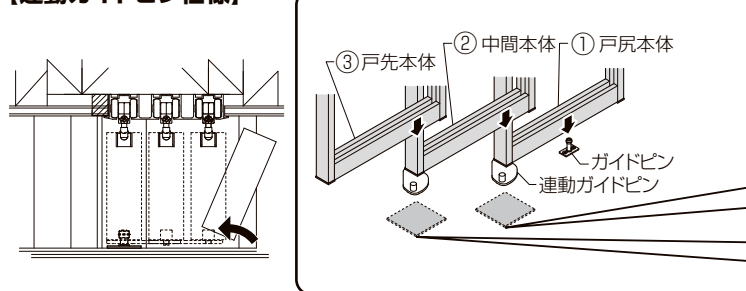
【フラット下レール・埋込敷居仕様】



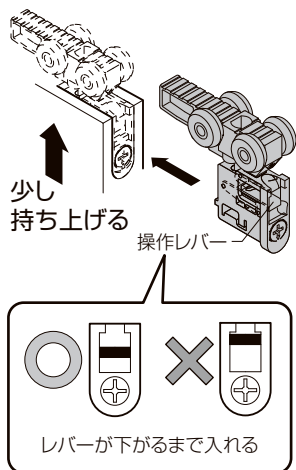
【埋込ガイドピン仕様】



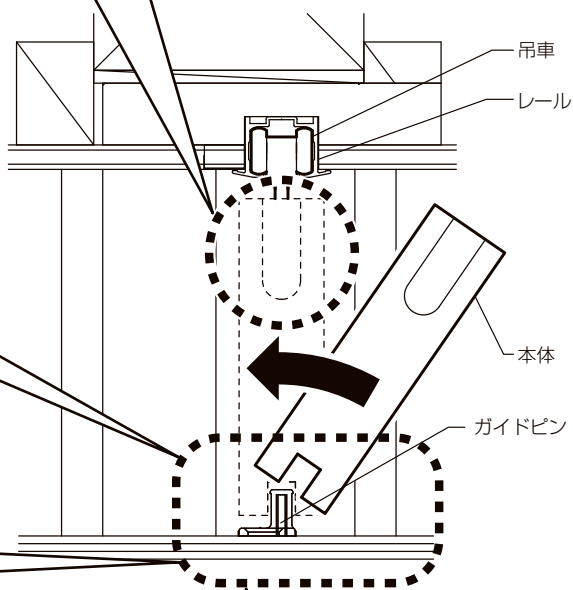
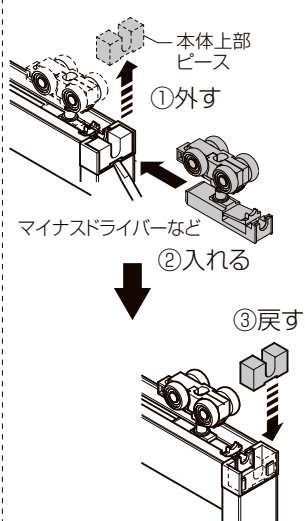
【連動ガイドピン仕様】



●吊車の取付け 【木質建具の場合】

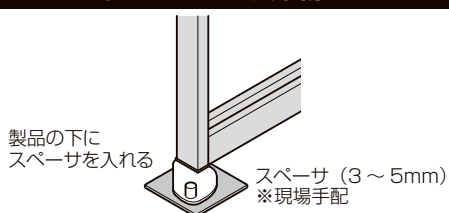


【アルミガラス建具の場合】



※図はガイドピン仕様

連動ガイドピンの変形防止



⑩本体への部品取付け(吊込み後)

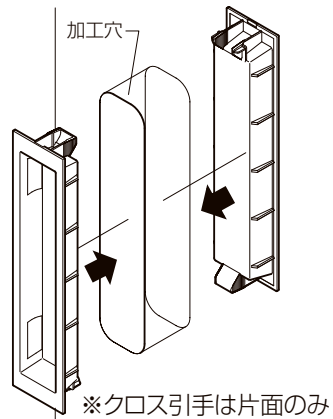
■引手の取付け(木質建具)

- ①仮組みされた引手は平行に引き抜いてください。
- ②引手を本体加工穴に押し込み固定してください。

■引手セット(別売品)

名称	入数
引手	2

●引手の取付け



■召し合せパッキンの貼付け(引違い戸4枚建、引分け戸の場合)

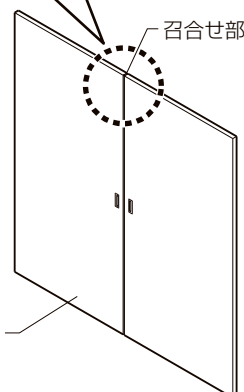
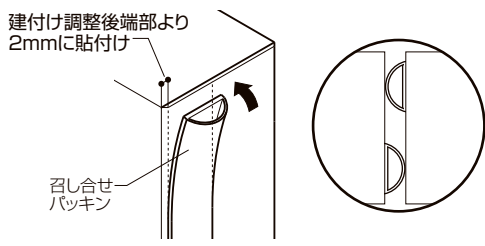
- ※必ず本体建付け調整後に作業してください。
- ①本体の高さに合わせて召し合せパッキンを切断してください。
 - ②貼付け面のホコリ、汚れ、油分を取除いてください。
 - ③パッキン裏面のシートをはがし、約5kg程度の力で下図のように貼付けてください。

■召し合せパッキンセット(別売品)

名称	入数
召し合せパッキン	2

●召し合せパッキンの取付け

貼付け面のホコリ・汚れ・油分除去！



■錠の取付け※木質建具の場合

錠の取付説明書を参照してください。

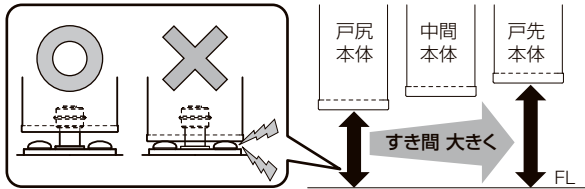
■本体側の調整について

本体調整上のお願い

- 床と本体のすき間は8～10mmに調整してください。各種ガイドピンと本体底面の干渉による部品破損、開閉不良の原因になります。

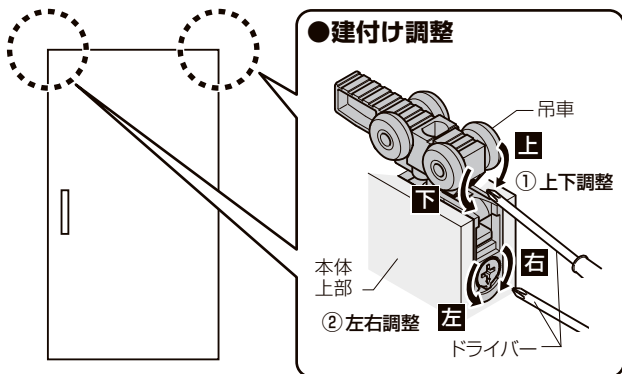
【連動ガイドピン仕様】

- 戸尻<中間<戸先の順に広がるようにしてください。



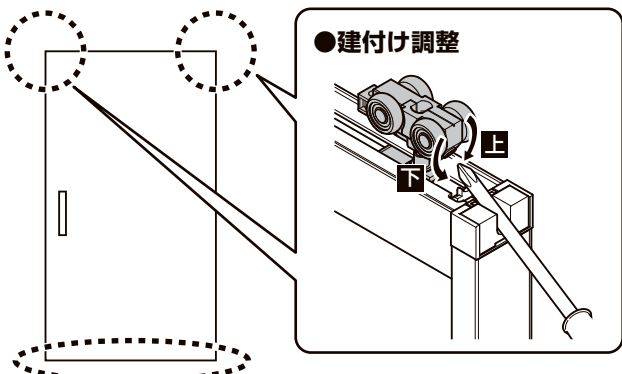
【木質建具】

- ①上下調整(+4mm、-1mm)
ドライバーで右に回すと本体が上がり、左に回すと下がります。
- ②左右調整(±2mm)
ドライバーで右に回すと本体が右へ、左に回すと左に動きます。



【アルミガラス建具】

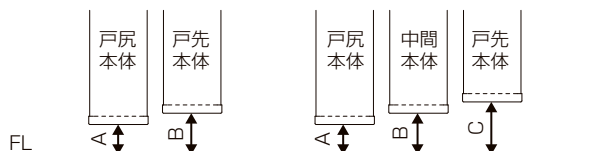
- 上下調整(+4mm、-1mm)
ドライバーで右に回すと本体が上がり、左に回すと下がります。



※片引戸2枚建・3枚建(連動ガイドピン仕様)の場合
A<B<Cになるように調整してください。

■片引戸2枚建て

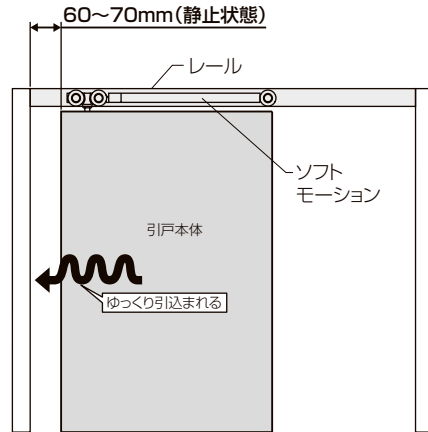
■片引戸3枚建て



※A=標準8mm
B=A+1～2mm、C=B+1～2mm

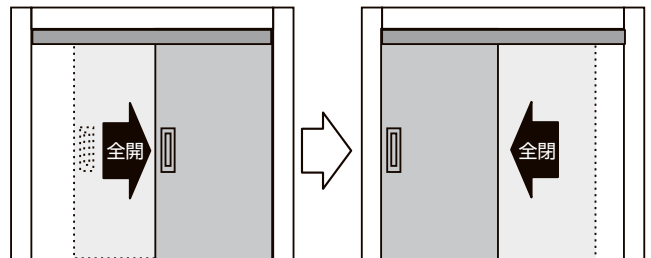
●ソフトモーションについて

- ・静止状態で枠から60～70mmで引き込みされます。
- ・開閉時は、本体重量、速度によって作動開始位置は変わります。減速して引き込まれたら正常です。



●ソフトモーションが機能しない場合(自動復帰)

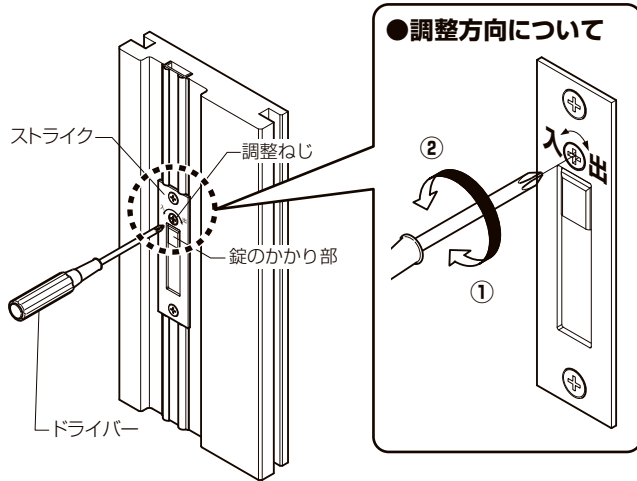
- ①本体を全開してください。
 - ②本体を全閉してください。
 - ③復帰するまで数回全開、全閉する操作をしてください。
- ※上記で復帰しない場合は、部品破損の可能性あります。



18-1 枠側の調整について※木質建具の場合のみ

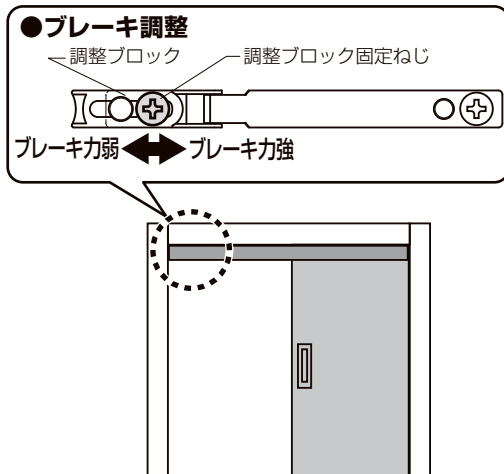
●引戸錠のかかり調整

- ①錠がかからない場合、右に回してください。
- ②枠とのすき間が大きい場合、左に回してください。



●ブレーキ調整について

- ①調整ブロック固定ねじをゆるめてください。
- ②調整ブロックを動かして固定してください。



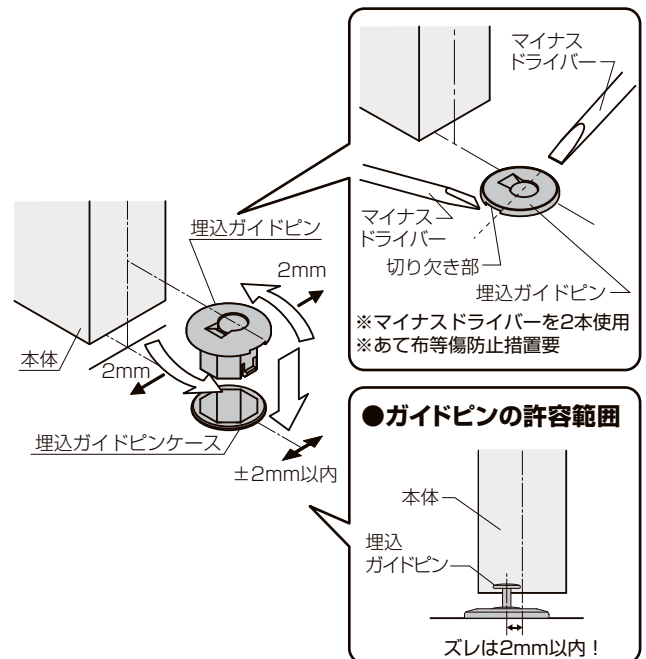
18-2 枠側の調整について

埋込ガイドピン調整時のお願い

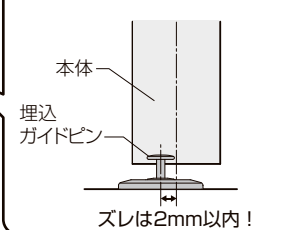
- 床の損傷防止のため、作業前にあて布等の損傷防止措置を行ってください。
- ガイドピンの破損防止のため、必ずマイナスドライバー2本で外してください。
- 開閉時ガイドピンから本体が外れるので、本体中心からズレは±2mm以内に調整してください。
- 作動不良防止のため、ガイドピン本体内のゴミは必ず取除いてください。

●埋込ガイドピンの調整(調整幅4mm)

- ①ガイドピンにある切り欠きにそれぞれマイナスドライバーを入れて外します。
- ②本体を静止させて、ガイドピンを回して本体とのズレを2mm以下にしてください。
- ③調整が完了したら、カチッと音がするまでガイドピンを最後まで入れます。



●ガイドピンの許容範囲



19 [アルミガラス建具] 召し合せパッキン(別売品)の取付け

引戸本体とFIXガラスパネルの間に 召し合せパッキンを取り付ける場合

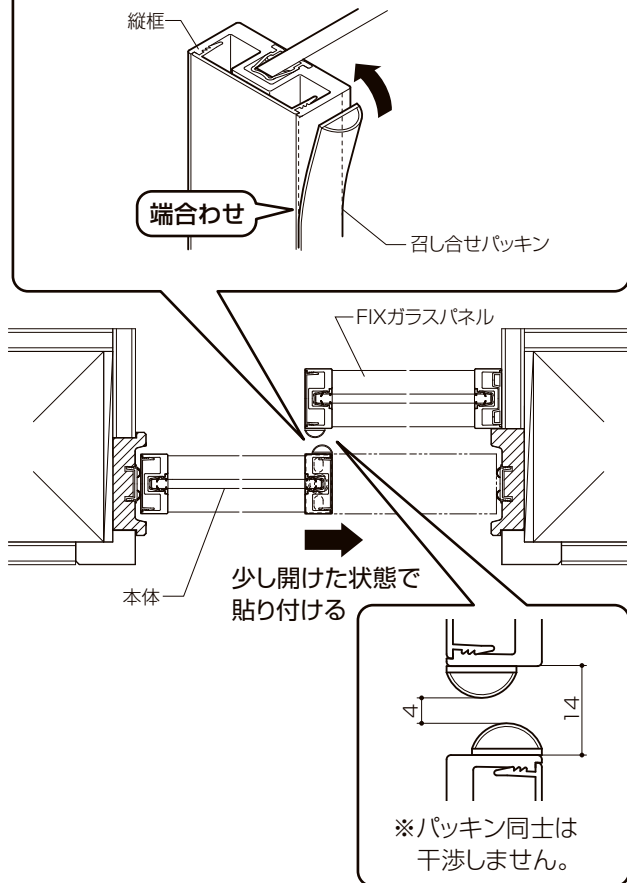
- ①縦框の長さに合わせてパッキンを切断します。
- ②縦框の貼付け面のホコリ、汚れ、油分を取り除きます。
- ③パッキン裏面のシートをはがし、縦框の端に合わせて約5kgの力で貼り付けます。
※本体を少し開けて行うと貼り付けやすいです。
- ④【召し合せパッキンが干渉する場合】
固定ガイドピンもしくは埋込ガイドピン(18-2)の位置調整を行ってください。

■召し合せパッキン

名称	入数
FIXガラスパネル用召し合せパッキン	2

●パッキンの取付け

貼付け面のホコリ・汚れ・油分除去！



20 本体・引手の取外し方法

●本体の取外し方法

【木質建具】

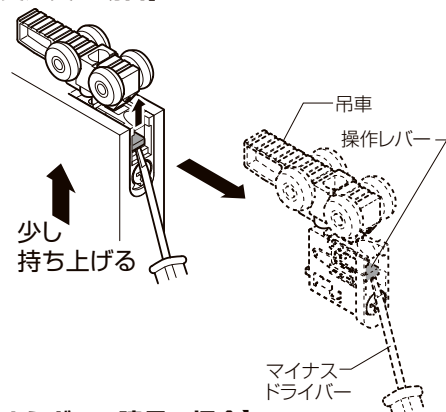
- ①本体を少し持ち上げて吊車に荷重がかからないようにします。
- ②操作レバーをマイナスドライバーなどで押し上げながら吊車を引き抜きます。

【アルミガラス建具】

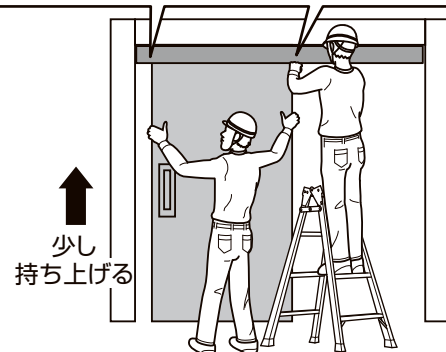
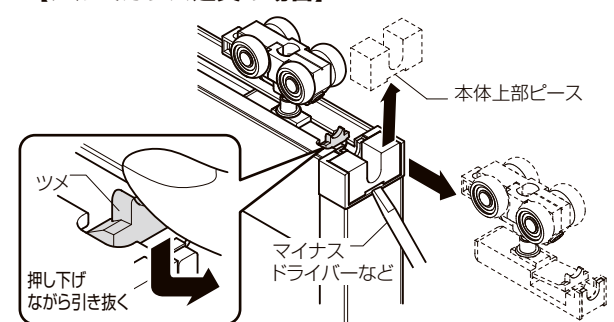
- ①マイナスドライバーなどを切り欠きに入れて本体上部ピースを取り外します。
- ②本体を少し持ち上げて吊車に荷重がかからないようにします。
- ③吊車の爪部を指で押し下げながら引き抜きます。

●吊車の取外し方法

【木質建具の場合】

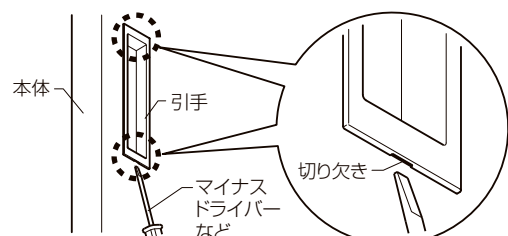


【アルミガラス建具の場合】



●引手の取外し方法

マイナスドライバーなどを切り欠きに入れて外してください。



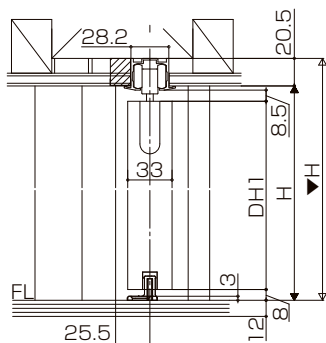
■参考納まり図

<木質建具>

■上吊片引戸標準

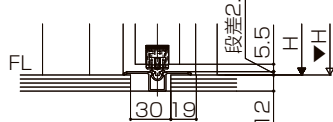
●縦断面図

固定ガイドピン納まり

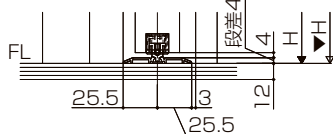


※小壁ユニット高さDH3はH+20.5になります。

埋込敷居納まり



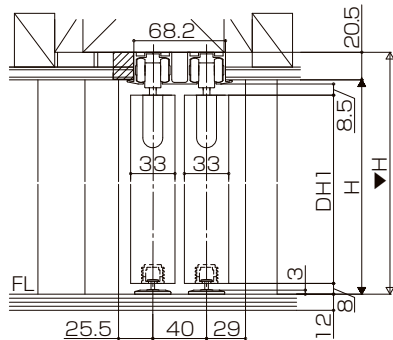
フラットレール納まり



■上吊片引戸2枚建

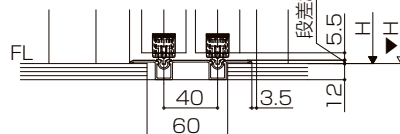
●縦断面図

埋込ガイドピン納まり

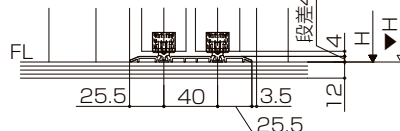


※小壁ユニット高さDH3はH+20.5になります。

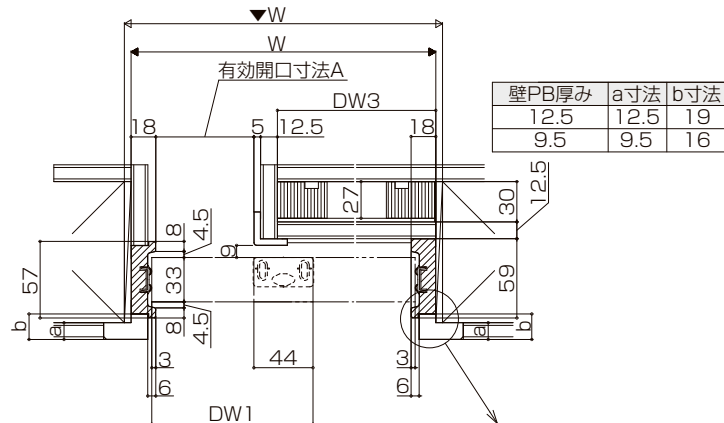
埋込敷居納まり



フラットレール納まり



●横断面図

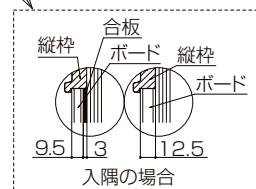


※上図は小壁ユニット有りの場合です。
無しの場合は小壁を現場造作してください。

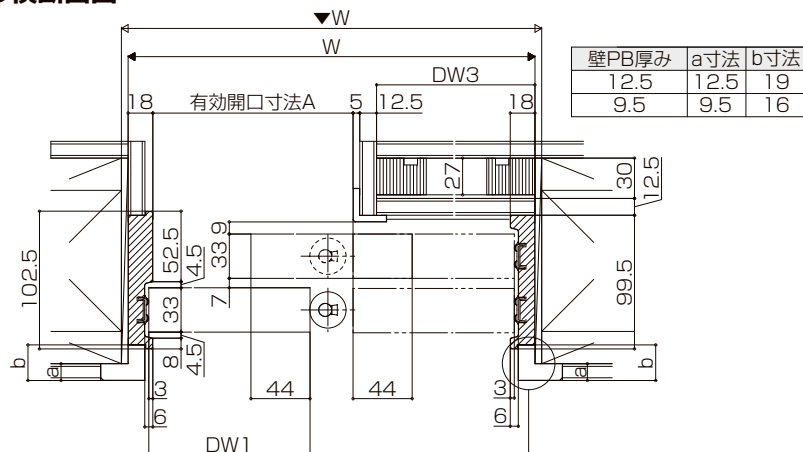
有効開口寸法

W呼称(枠外寸法)	A寸法
W12(1188)	554
W13(1324)	622
W14(1454)	687
W16(1644)	782
W18(1824)	872

$$\begin{aligned} \text{算出式: } A\text{寸法} &= (W-80)/2 \\ DW1 &= (W+14)/2 \\ DW3 &= (W+9)/2 \end{aligned}$$



●横断面図



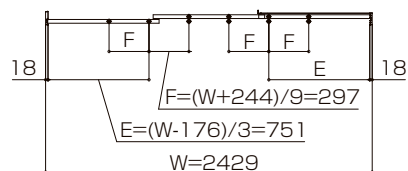
※上図は小壁ユニット有りの場合です。
無しの場合は小壁を現場造作してください。

有効開口寸法

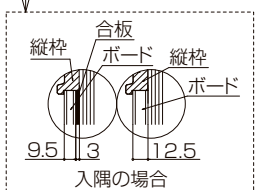
W呼称(枠外寸法)	A寸法
W24(2429)	1567

$$\begin{aligned} \text{算出式: } A\text{寸法} &= (2W-157)/3 \\ DW1 &= (W+58)/3 \\ DW3 &= (2W+101)/6 \end{aligned}$$

●埋込ガイドピン配置図

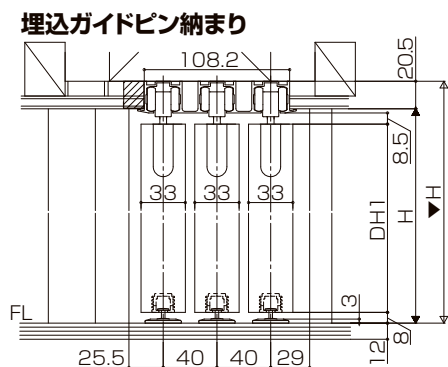


※E・F共に計算結果の小数点は切り捨てとする。

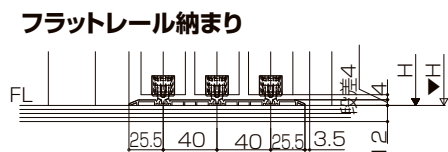
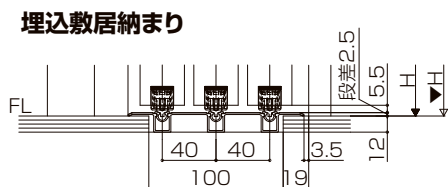


■上吊片引戸3枚建

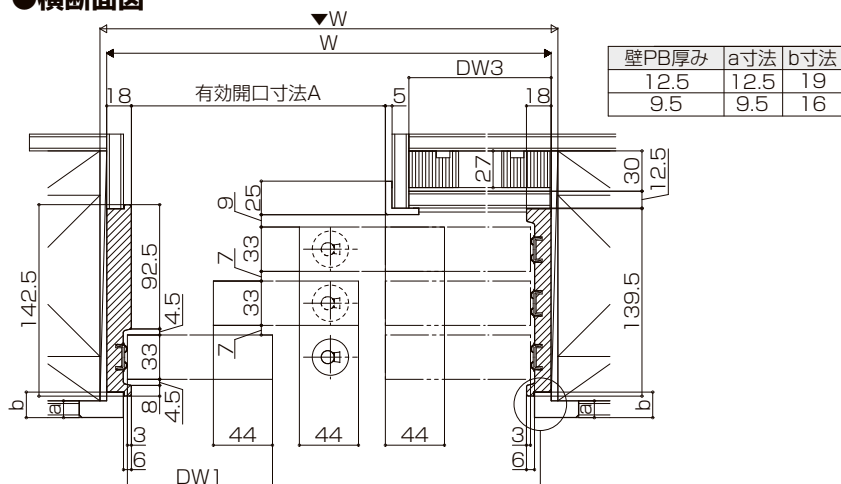
●縦断面図



※小壁ユニット高さDH3はH+20.5になります。



●横断面図



※上図は小壁ユニット有りの場合です。
無しの場合は小壁を現場造作してください。

有効開口寸法

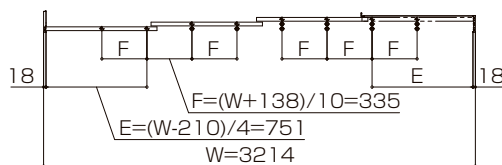
W呼称(枠外寸法)	A寸法
W32(3214)	2350

算出式: A寸法=(3W-240)/4

DW1=(W+102)/4

DW3=(W+92)/4

●埋込ガイドピン配置図

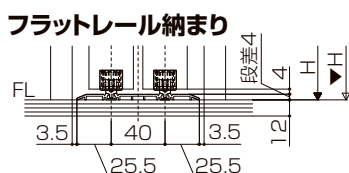
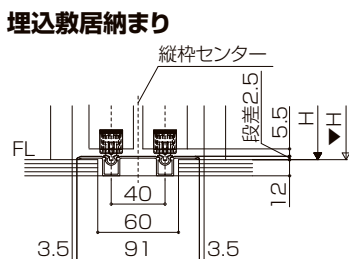
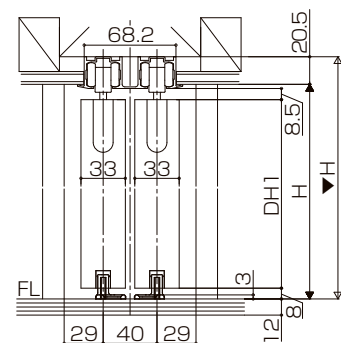


※E・F共に計算結果の小数点は切り捨てとする。

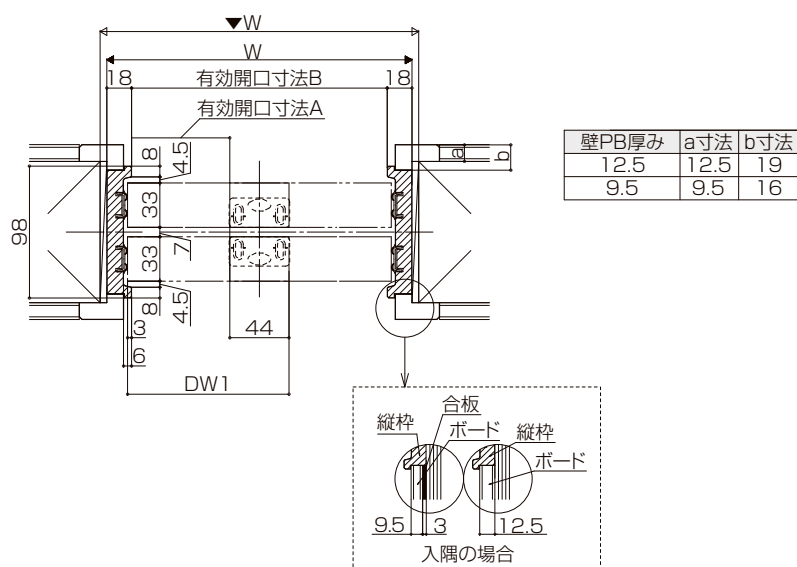
■上吊引違い戸2枚建

●縦断面図

固定ガイドピン納まり



●横断面図



有効開口寸法

W呼称(枠外寸法)	A寸法	B寸法
W16(1644)	782	1608
W18(1824)	872	1788

算出式: A寸法=(W-80)/2

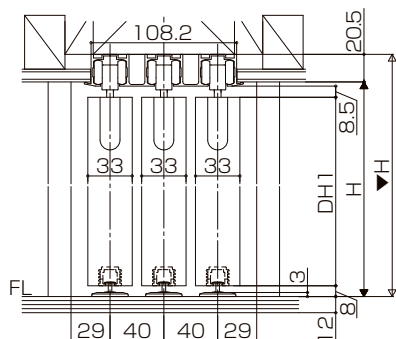
B寸法=W-36

DW1=(W+14)/2

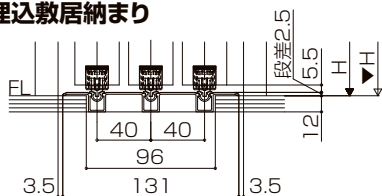
■上吊引違い戸3枚建

●縦断面図

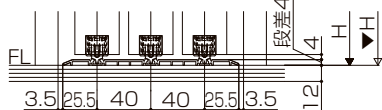
埋込ガイドピン納まり



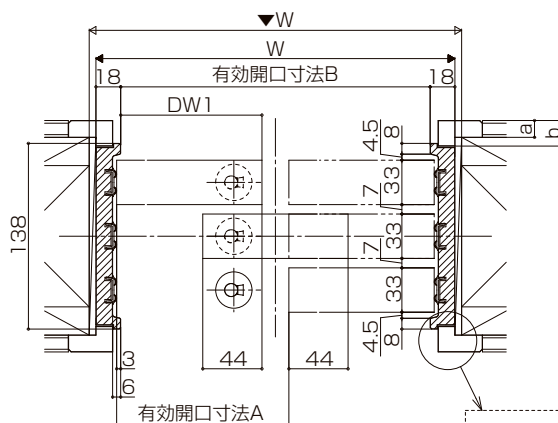
埋込敷居納まり



フラットレール納まり



●横断面図

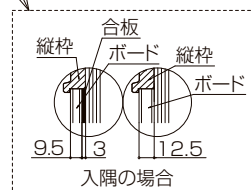


壁PB厚み	a寸法	b寸法
12.5	12.5	19
9.5	9.5	16

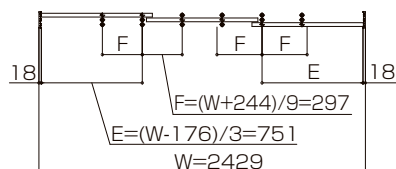
$$\begin{aligned} \text{算出式: } A\text{寸法} &= (2W - 157) / 3 \\ B\text{寸法} &= W - 36 \\ DW1 &= (W + 58) / 3 \end{aligned}$$

有効開口寸法

W呼称(枠外寸法)	A寸法	B寸法
W24(2429)	1567	2393



●埋込ガイドピン配置図

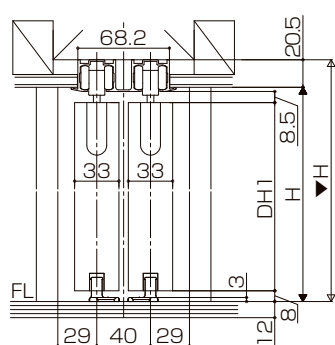


※E・F共に計算結果の小数点は切り捨てとする。

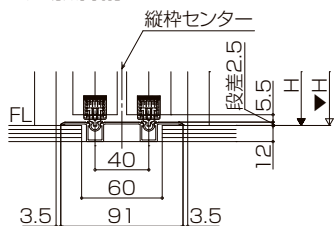
■上吊引違い戸4枚建

●縦断面図

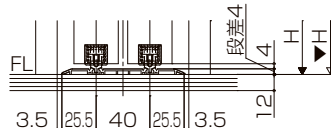
固定ガイドピン納まり



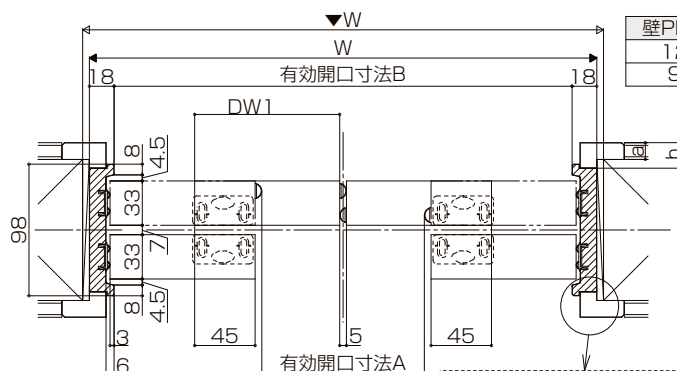
埋込敷居納まり



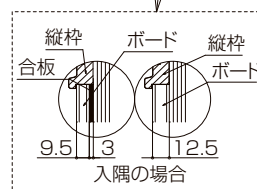
フラットレール納まり



●横断面図



壁PB厚み	a寸法	b寸法
12.5	12.5	19
9.5	9.5	16



有効開口寸法

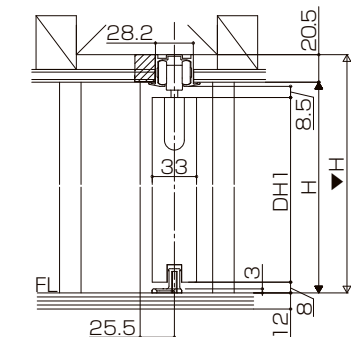
W呼称(枠外寸法)	A寸法	B寸法
W32(3261)	1563	3217

$$\begin{aligned} \text{算出式: } A\text{寸法} &= (W - 135) / 2 \\ B\text{寸法} &= W - 36 \\ DW1 &= (W + 55) / 4 \end{aligned}$$

■上吊引分け戸

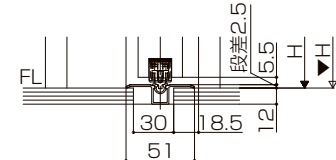
●縦断面図

固定ガイドビン納まり

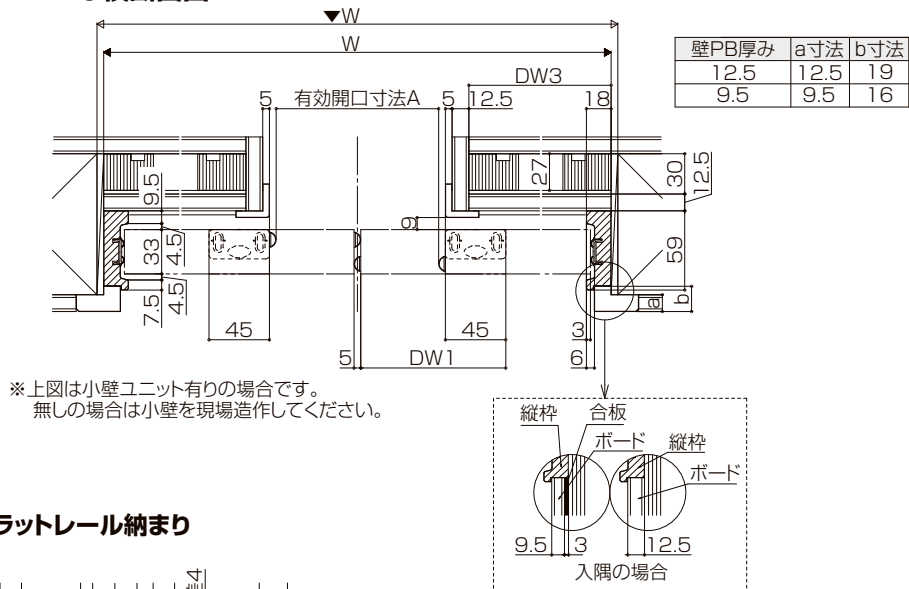


※小壁ユニット高さDH3はH+20.5になります。

埋込敷居納まり



●横断面図



有効開口寸法	
W呼称(枠外寸法)	A寸法
W32(3261)	1563

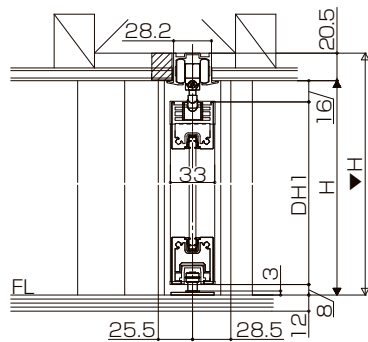
算出式:A寸法=(W-135)/2
DW1=(W+55)/4
DW3=(W+45)/4

<アルミガラス建具>

■上吊片引戸標準

●縦断面図

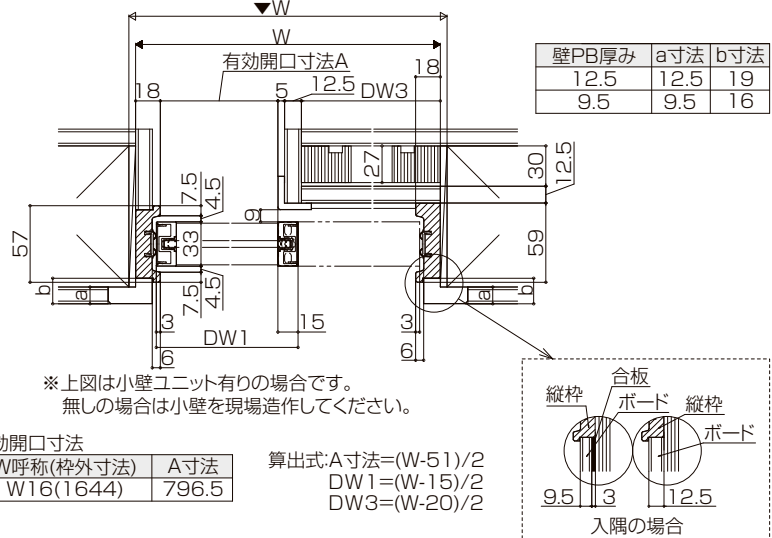
小壁ユニット有り+化粧縁有り 納まり



※小壁ユニット高さDH3はH+20.5になります。

●横断面図

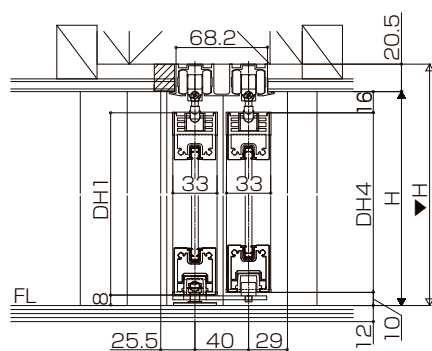
小壁ユニット有り+化粧縁有り 納まり



■上吊片引戸2枚建

●縦断面図

小壁ユニット有り+化粧縁有り 納まり

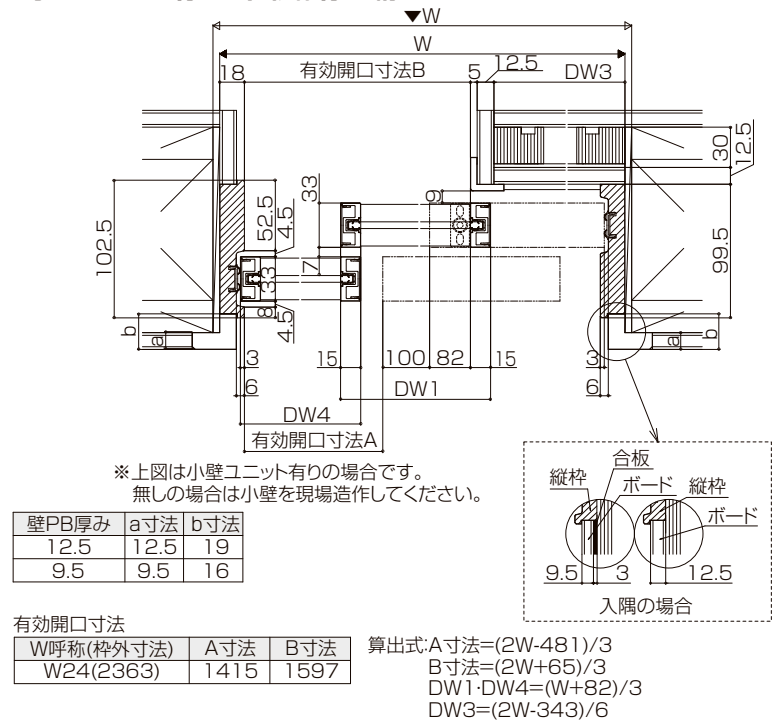


※小壁ユニット高さDH3はH+20.5になります。

※～26年9月 DH4=DH1
26年10月～ 戸先本体のみDH4

●横断面図

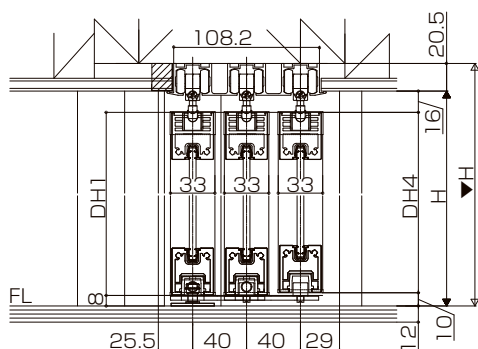
小壁ユニット有り+化粧縁有り 納まり



■上吊片引戸3枚建

●縦断面図

小壁ユニット有り+化粧縁有り 納まり



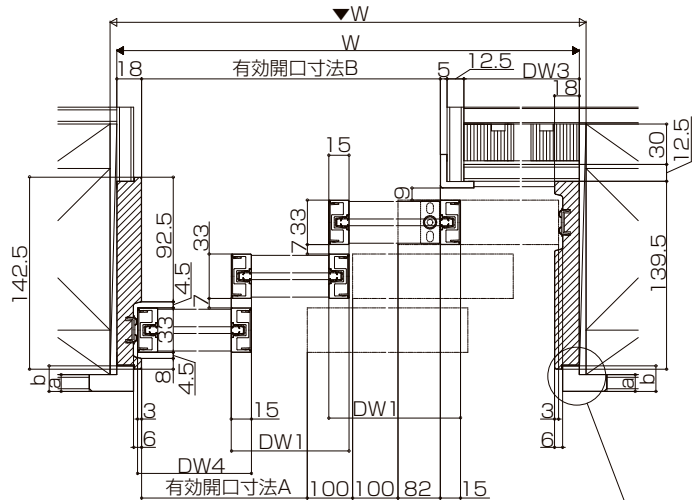
※小壁ユニット高さDH3はH+20.5になります。

※～26年9月 DH4=DH1

26年10月～ 戸先本体のみDH4

●横断面図

小壁ユニット有り+化粧縁有り 納まり



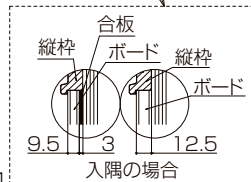
壁PB厚み	a寸法	b寸法
12.5	12.5	19
9.5	9.5	16

※上図は小壁ユニット有りの場合です。
無しの場合は小壁を現場造作してください。

有効開口寸法

W呼称(枠外寸法)	A寸法	B寸法
W32(3163)	2115	2397

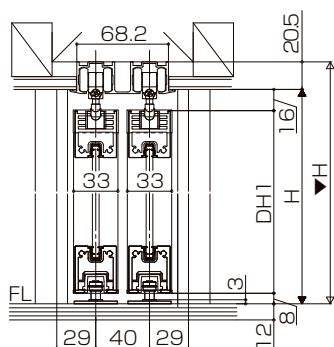
算出式: A寸法=(3W-1029)/4
B寸法=(3W+99)/4
DW1・DW4=(W+97)/4
DW3=(W-241)/4



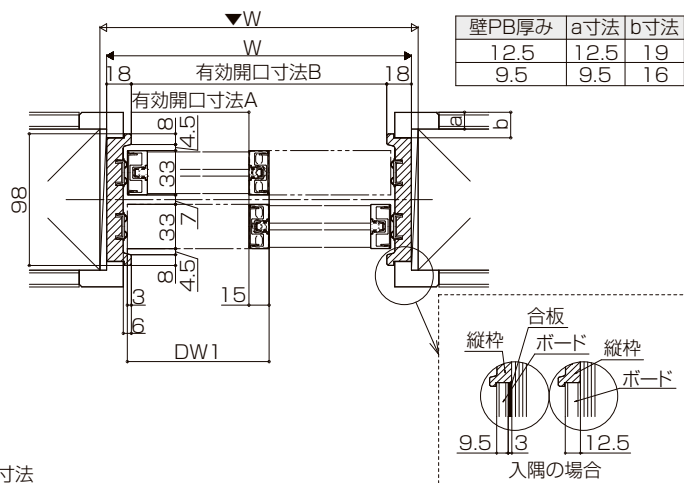
■上吊引違い戸2枚建

●縦断面図

固定ガイドピン納まり



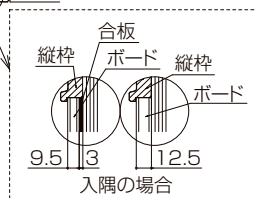
●横断面図



有効開口寸法

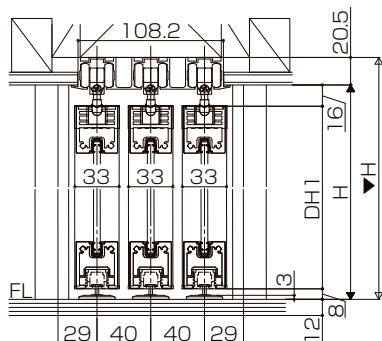
W呼称(枠外寸法)	A寸法
W16(1644)	796.5

算出式: A寸法=(W-51)/2
B寸法=W-36
DW1=(W-15)/2

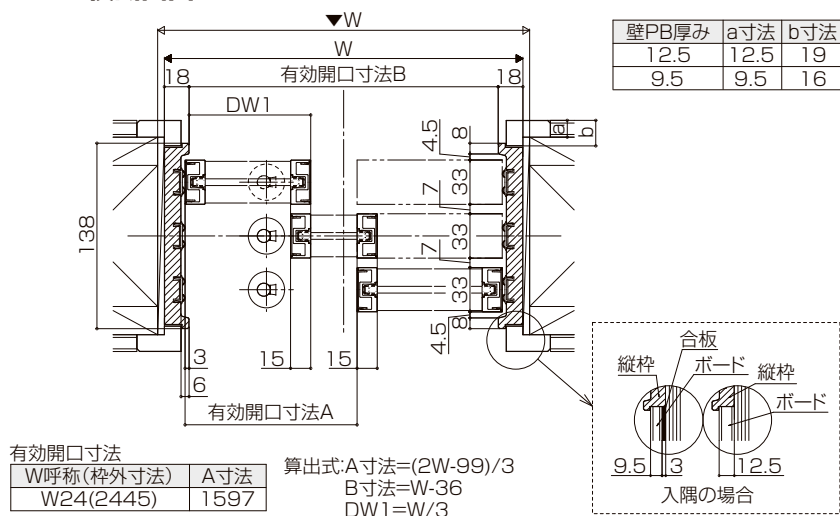


■上吊引違い戸3枚建

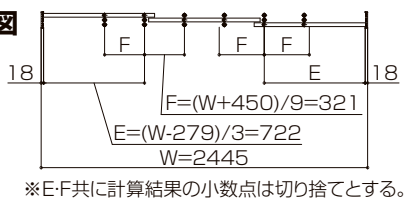
●縦断面図



●横断面図

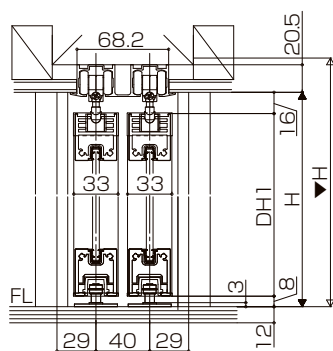


●埋込ガイドピン配置図

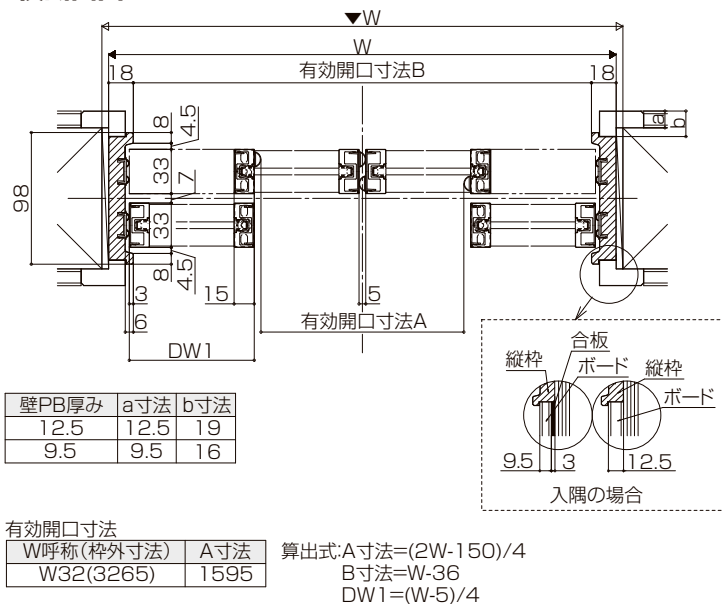


■上吊引違い戸4枚建

●縦断面図



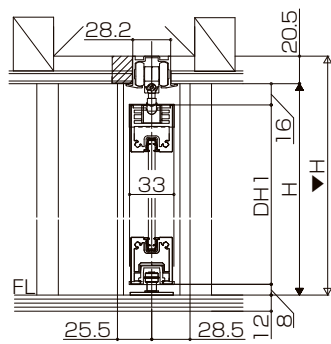
●横断面図



■上吊引分け戸

●縦断面図

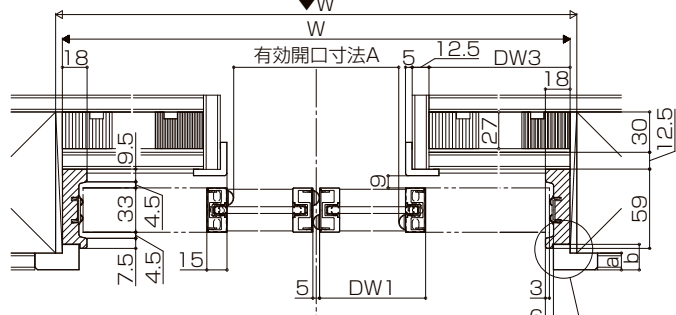
小壁ユニット有り+化粧縁有り 納まり



※小壁ユニット高さDH3はH+20.5になります。

●横断面図

小壁ユニット有り+化粧縁有り 納まり



※上図は小壁ユニット有りの場合です。
無しの場合は小壁を現場造作してください。

壁PB厚み	a寸法	b寸法
12.5	12.5	19
9.5	9.5	16

有効開口寸法	
W呼称(枠外寸法)	A寸法
W32(3265)	1595

算出式: A寸法=(2W-150)/4
DW1=(W-5)/4
DW3=(W-15)/4

